

国立大学法人及び大学共同利用機関法人の中期目標変更原案及び中期計画変更案について

国立大学法人及び大学共同利用機関法人の中期目標の変更について7法人の意見が、中期計画の変更について15法人の申請があった。それぞれの変更内容については以下のとおり。

**1 教育研究組織の設置に伴う目標・計画の変更** **7法人**

- 平成25年度に新たな教育研究組織を設置することに伴う目標・計画の変更  
2法人（群馬、鳥取）
- 教育関係共同利用拠点認定に伴う目標の変更 5法人  
（東京外国語、東京海洋、新潟、金沢、静岡）

**2 新たな構想が具体化したこと等による計画の変更** **7法人**

- 重点的に取り組む新たな教育研究上の構想を具体化させる等の計画の追加・変更 7法人（秋田、筑波、東京工業、香川、政策研究大学院、人間文化研究機構、自然科学研究機構）

**3 PFIによる事業を推進するための計画の変更** **1法人**

- 研究棟の施設整備事業をPFIとして推進するための計画の変更（九州）

**4 その他の変更** **6法人**

- 学内組織の名称変更等に伴う目標・計画の変更 6法人  
（埼玉、東京学芸、金沢、静岡、京都、政策研究大学院）



# 国立大学法人等の中期目標変更原案・中期目標計画変更案について

## 1. 教育研究組織の設置に伴う目標・計画の変更 7 法人

### ○ 平成25年度に新たな教育研究組織を設置することに伴う目標・計画の変更 2 法人

番号	大学名	変更区分	変更理由	変更内容	
				変更前	変更案
19	群馬大学	目標	工学部・大学院工学研究科の廃止及び理工学部・大学院理工学府の設置に伴う変更	I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 2 研究に関する目標 (2) 研究実施体制等の整備に関する目標 研究の発展を促進するため、また、大学として重点的に取り組む領域や学部(研究科)・学科(専攻)の枠を越えた複合領域の研究を推進するために、学長のリーダーシップに基づいて研究者等を適切に配置し、施設及び設備などの研究環境を整備する。さらに、国際的競争力を持つ先進的研究拠点の活動を担う人材を育成する。	I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 2 研究に関する目標 (2) 研究実施体制等の整備に関する目標 研究の発展を促進するため、また、大学として重点的に取り組む領域や学部(研究科、学府)・学科(専攻)の枠を越えた複合領域の研究を推進するために、学長のリーダーシップに基づいて研究者等を適切に配置し、施設及び設備などの研究環境を整備する。さらに、国際的競争力を持つ先進的研究拠点の活動を担う人材を育成する。
19	群馬大学	計画		I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 (1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置 (ii) 大学院課程 ① 研究科の理念・目標に基づく明確なアドミッション・ポリシーを広く周知するとともに、社会人等の多様な学習歴を持つ受験生の資質・能力を適切に評価して入学者を選抜する。	I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 (1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置 (ii) 大学院課程 ① 研究科及び学府の理念・目標に基づく明確なアドミッション・ポリシーを広く周知するとともに、社会人等の多様な学習歴を持つ受験生の資質・能力を適切に評価して入学者を選抜する。
62	鳥取大学	目標		I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 (2) 教育の実施体制等に関する目標 1) 大学における教育の質の保証・向上に資するよう制度・組織を見直し、整備・充実する。	I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 (2) 教育の実施体制等に関する目標 1) 大学における教育の質の保証・向上に資するよう制度・組織を見直し、特に <u>獣医学教育においては、平成25年度に岐阜大学との共同獣医学科を設置するなど、整備・充実する。</u>
62	鳥取大学	計画	岐阜大学との共同獣医学科設置のため	I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 (2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置 6) 国内の国公立大学との連携を促進し、各大学の教育研究資源を有効に活用する。特に、 <u>獣医学教育においては、岐阜大学との教育課程の共同実施を目指す。</u>	I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 (2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置 6) 国内の国公立大学との連携を促進し、各大学の教育研究資源を有効に活用する。特に、 <u>平成25年度に岐阜大学との共同獣医学科を設置し、獣医学教育を推進する。</u>

○ 教育関係共同利用拠点認定に伴う目標の変更 5法人

番号	大学名	変更区分	変更理由	変更内容	
				変更前	変更案
24	東京外国語大学	目標	教育関係共同利用拠点の認定	◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部、研究科及び別表2に記載する共同利用・共同研究拠点を置く。	◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部、研究科及び別表2に記載する共同利用・共同研究拠点及び教育関係共同利用拠点を置く。
29	東京海洋大学	目標	教育関係共同利用拠点の認定	◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部及び研究科を置く。	◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部及び研究科並びに別表2に記載する教育関係共同利用拠点を置く。
34	新潟大学	目標	教育関係共同利用拠点の認定	◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部、研究科等及び別表2に記載する共同利用・共同研究拠点を置くものとする。	◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部、研究科等及び別表2に記載する共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点を置くものとする。
38	金沢大学	目標	教育関係共同利用拠点の認定	◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学域、研究科及び別表2に記載する共同利用・共同研究拠点を置く。	◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学域、研究科及び別表2に記載する共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点を置く。
43	静岡大学	目標	教育関係共同利用拠点の認定	◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 1 中期目標の期間 平成22年4月1日～平成28年3月31日 2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部、研究科等を置く。	◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 1 中期目標の期間 平成22年4月1日～平成28年3月31日 2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部、研究科等及び別表2に記載する教育関係共同利用拠点を置く。

2. 新たな構想が具体化したこと等による計画の変更 7法人

○ 重点的に取り組む新たな教育研究上の構想を具体化させる等の計画の追加・変更 7法人

番号	大学名	変更区分	変更理由	変更内容	
				変更前	変更案
12	秋田大学	計画	日本を代表する資源学教育拠点を形成し、国際資源学部（仮称）を創設するとともに、地域振興の中核拠点として教育文化学部及び工学資源学部の改組を行う。	I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 （1）教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置 【10】③工学資源学部 ・秋田県立大学との共同大学院を設置する。 ・博士課程の組織・定員の見直しを行う	I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 （1）教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置 【10】③工学資源学部 ・秋田県立大学との共同大学院を設置する。 ・博士課程の組織・定員の見直しを行う ・社会の要請を踏まえた学部の組織・定員の見直しを行う。 【11】④世界水準の資源学教育拠点を形成し、国際資源学部（仮称）の設置を目指す。
16	筑波大学	計画	世界トップレベル研究拠点プログラム（WPI）に採択された「国際統合睡眠医科学研究機構」の研究について、本学における重点的な研究分野として位置付け実施するため	I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 2 研究に関する目標を達成するための措置 （1）研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置 ②国際的に高い成果の期待される分野、学際融合を先導する萌芽的な分野など、本学の特色ある分野における研究を学長のリーダーシップの下で重点的に実施する。	I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 2 研究に関する目標を達成するための措置 （1）研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置 ②国際的に高い成果の期待される分野、学際融合を先導する萌芽的な分野、世界トップレベルの拠点形成を目指す「国際統合睡眠医科学研究機構」における睡眠医学分野など、本学の特色ある分野における研究を学長のリーダーシップの下で重点的に実施する。

番号	大学名	変更区分	変更理由	変更内容	
				変更前	変更案
28	東京工業大学	計画	世界トップレベル研究拠点に採択されたことにより、実施体制等の整備を行うため。	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>2 研究に関する目標を達成するための措置 (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標</p> <p><u>【25】本学で創造された新しい価値を活用して、学内及び国内外の他大学・研究機関との連携による融合領域・新規領域の開拓に取り組む。</u> (新規追加)</p>	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>2 研究に関する目標を達成するための措置 (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標</p> <p><u>【25-1】本学で創造された新しい価値を活用して、学内及び国内外の他大学・研究機関との連携による融合領域・新規領域の開拓に取り組む。</u></p> <p><u>【25-2】世界トップレベル研究拠点「地球生命研究所」において、初期地球にフォーカスし、地球と生命の起源と進化を互いに関連づけて明らかにすることを旨とする研究を推進するとともに、このための組織整備等を重点的に行う。</u></p>
69	香川大学	計画	急速に変化する社会の将来を見通すと、教育目的や教育組織が限定的な新学部を設置するよりも、既存の学部等の資源を活用しながら、地域や学生のニーズの変化に柔軟に対応できる全学部生対象の教育プログラムを構想・実施する方が、教育効果の拡充につながると判断したため。	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置 (2) 教育内容等に関する目標を達成するための措置</p> <p>2-1 <u>新学部を設置し、当該学部を中心に、言語・文化・社会・心理等の教育を実施する</u></p>	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置 (2) 教育内容等に関する目標を達成するための措置</p> <p>2-1 <u>学部の枠を超えた全学的な教育プログラムにより、言語・文化・社会・心理等の教育を実施する</u></p>
83	政策研究大学院大学	計画	<p>○グローバルCOE関係平成24年度にグローバルCOEプログラムが終了。この事業成果を踏まえて、教育研究活動の更なる推進を図るため、新たな項目を追加するもの。【中期計画1-3】</p> <p>また、グローバルCOEプログラムの活動成果を活かした今後の研究活動について明記したもの。【中期計画12-2】</p>	<p>1 教育に関する目標を達成するための措置 (1) 教育の成果に関する目標を達成するための措置</p> <p>1-3 (新規追加)</p>	<p>1 教育に関する目標を達成するための措置 (1) 教育の成果に関する目標を達成するための措置</p> <p>1-3 <u>平成20年度に採択されたグローバルCOEプログラムの研究成果を活かし、国家建設と経済発展に関する高度な政策人材の養成を目的としたプログラムの創設、発展を図る。</u></p>
			<p>2 研究に関する目標を達成するための措置 (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>12-2 平成20年度に採択されたグローバルCOEプログラムの遂行を通じ、アジア、アフリカの大学、研究機関等と国際的共同研究を積極的に行い、国際的な開発政策に関する研究拠点を形成する。</p>	<p>2 研究に関する目標を達成するための措置 (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>12-2 平成20年度に採択されたグローバルCOEプログラムの遂行を通じ、アジア、アフリカの大学、研究機関等と国際的共同研究を積極的に行い、国際的な開発政策に関する研究拠点を形成するとともに、<u>グローバルCOEプログラムの実践成果を活用した新たな研究プロジェクトを推進する。</u></p>	
			<p>○ 全てのセンターが政策研究センターに一元化することになったため、今後の研究活動について明記したもの。</p>	<p>12-3 <u>各研究センターの着実な運営並びに各センター間の連携協力、競争的資金の獲得による研究の推進等により、研究拠点を着実に形成する。</u></p>	<p>12-3 <u>政策研究センターを内外の大学・研究機関等との総合的な連携協力の中心として整備するとともに、多様な競争的資金の獲得による研究の推進等により、研究拠点を着実に形成する。</u></p>
			<p>○ 政策研究院創設関係平成24年度までは「政策研究院機構（仮称）」の創設準備作業を行ってきたところであるが、これまでの準備作業の成果を踏まえ、平成25年度に「政策研究院」を創設することとなるため、より具体的にその役割等を明記するもの。【中期計画16-1】</p>	<p>(2) 研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置</p> <p>16-1 <u>政策研究院機構（仮称）の創設を目指す取組みにおいて、新たな社会的ニーズ等をも踏まえて、関連する研究機関・政府機関との連携による研究教育を構想し、着実に実施する。</u></p>	<p>(2) 研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置</p> <p>16-1 <u>本学と主要省庁及び関連行政機関等との連携・協働による政策研究院を創設し、政策研究院参議会を中心とする独自の機構・体制を整備する。政策研究院においては、新たな社会的ニーズ等をも踏まえて、省庁の壁を超えた高度の戦略的政策研究を推進し、国の内外のステークホルダー・行政官等の高度の研修事業を展開し、もってグローバルリーダーの育成と政・官・学・民のリーダーから構成されるポリシー・コミュニティの構築への貢献を期する。</u></p>

番号	大学名	変更区分	変更理由	変更内容	
				変更前	変更案
83	政策研究大学院大学	計画	○グローバルリーダー育成センター（仮称）関係国内外の政府部門等の政策指導者及び政策プロフェッショナルの育成は、GRIPSの大きなミッションの一つであるが、研修事業についても、ミッション達成のための重要な柱の一つであることから、これまでの実績を踏まえ、それを発展・強化させるため。 【中期計画20-2】	3 その他の目標を達成するための措置 (2) 国際化に関する目標を達成するための措置 20-2 各国政府及び政府関係機関等からの要請に基づき、幹部行政官等の研修プログラムを実施する	3 その他の目標を達成するための措置 (2) 国際化に関する目標を達成するための措置 20-2 <u>研修事業を統括する拠点として、学内に「グローバルリーダー育成センター」（仮称）を設置し、各国政府及び政府関係機関等からの要請に基づき、幹部行政官等の研修プログラムを実施する。</u>
88	自然科学研究機構	計画	TMT 計画の国際的枠組みが決まりつつあり、進行状況を中期計画に反映させる。以下、項目番号を順送り。	I 研究機構の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 研究に関する目標を達成するための措置 (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置 (国立天文台) <u>(新規追加)</u>  ④ (略) ⑤ (略)	I 研究機構の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 研究に関する目標を達成するための措置 (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置 (国立天文台) ④ <u>日米加等によるTMT（30m光赤外線望遠鏡）について、建設に向けて主鏡の製作等にかかる核心技术の実証を行い、国際協力事業における日本の役割を果たす。</u> <u>なお、すばる望遠鏡については、TMTとの連携を見据え、運営負担の軽減を図る。</u> ⑤ (略) ⑥ (略)
87	人間文化研究機構	計画	ロードマップ（※）に位置づけられた事業として、研究者コミュニティとの協体制が整備されたことから、「日本語の歴史的典籍のデータベースの構築計画」を中期計画に位置づけ、歴史的典籍の画像情報を活用した新たな学問領域の創出に寄与する。 （※）学術研究の大型プロジェクトの推進に関する基本構想—ロードマップ2012—	I 研究機構の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1. 研究に関する目標を達成するための措置 (3) 共同利用の基盤整備等共同利用の推進に関する目標を達成するための措置 イ) 国文学研究資料館においては、 <u>国内外の研究者の参加を得て、日本文学及びそれに関連する諸資料を計画的かつ体系的に調査・収集し、それらの保存と共同利用を促進する。</u> そのため、全国の研究者を文献資料調査員として組織し、各地の資料所蔵機関において調査研究を実施する。また、 <u>館蔵資料等のデジタル化を推進し、データベースの整備公開を行うほか、国際研究集会開催等によって国内外の研究者との連携協力を積極的に推進する。</u>	I 研究機構の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1. 研究に関する目標を達成するための措置 (3) 共同利用の基盤整備等共同利用の推進に関する目標を達成するための措置 イ) 国文学研究資料館においては、 <u>歴史的典籍を保有する大学や図書館、博物館等との連携協力により、日本語の歴史的典籍データベースを整備し、画像情報を内外に向けて公開する。また、日本文学及び関連する諸資料を計画的かつ体系的に調査・収集し、それらの保存と共同利用・共同研究を促進する。</u> そのため、全国の研究者を文献資料調査員として組織し、国際研究集会開催等によって国内外の研究者との連携協力を積極的に推進する。

### 3 PFIによる事業を推進するための計画の変更 1 法人

#### ○ 研究棟の施設整備事業をPFIとして推進するための計画の変更

番号	大学名	変更区分	変更理由	変更内容	
				変更前	変更案
73	九州大学	計画	PFI事業による事業の新規決定によるもの	V キャンパス整備・その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置 1 施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置 (研究・教育環境) 69. 伊都新キャンパスへの統合移転の第IIステージ及び第IIIステージを、国の財政措置の状況を踏まえ、推進を図る。 なお、研究教育棟I施設整備事業及び国際学生生住宅等（生活支援施設ウエストII、学生寄宿舎I）施設整備事業及び実験施設整備事業についてはPFI事業として確実に推進する。	V キャンパス整備・その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置 1 施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置 (研究・教育環境) 69. 伊都新キャンパスへの統合移転の第IIステージ及び第IIIステージを、国の財政措置の状況を踏まえ、推進を図る。 なお、研究教育棟I施設整備事業、国際学生生住宅等（生活支援施設ウエストII、学生寄宿舎I）施設整備事業、 <u>実験施設整備事業及び理学系総合研究棟施設整備事業についてはPFI事業として確実に推進する。</u>

#### 4. その他の変更 6法人

##### ○ 学内組織の名称変更等に伴う目標・計画の変更 6法人

番号	大学名	変更区分	変更理由	変更内容	
				変更前	変更案
20	埼玉大学	計画	学内組織名称変更のため	<p>1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置</p> <p>(基本組織の編成と教職員の配置に関する目標を達成するための具体的措置)</p> <p>○各学部の相互協力を図るため、<u>全学教育企画室</u>を置き、学部カリキュラム委員会等と密接に連携し、学士課程教育全般の企画と調整を行う。(教育の質の改善のためのシステムに関する目標を達成するための具体的措置)</p> <p>○各学期に、全授業科目を対象にした学生による授業評価を実施し、その結果を担当教員にフィードバックする。全学教育企画室では学生による授業評価結果及び就学状況を分析して、教育の質の改善策に資する。</p>	<p>1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 教育に関する目標を達成するための措置</p> <p>(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置</p> <p>(基本組織の編成と教職員の配置に関する目標を達成するための具体的措置)</p> <p>○各学部の相互協力を図るため、<u>教育企画室</u>を置き、学部カリキュラム委員会等と密接に連携し、学士課程教育全般の企画と調整を行う。(教育の質の改善のためのシステムに関する目標を達成するための具体的措置)</p> <p>○各学期に、全授業科目を対象にした学生による授業評価を実施し、その結果を担当教員にフィードバックする。教育企画室では学生による授業評価結果及び就学状況を分析して、教育の質の改善策に資する。</p>
				<p>2 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>(目指すべき研究水準に関する目標を達成するための具体的措置)</p> <p>○総合研究機構に設置した脳科学融合研究センター及び環境科学研究センターを重点研究拠点として整備し、世界水準の研究を推進する。</p>	<p>2 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>(目指すべき研究水準に関する目標を達成するための具体的措置)</p> <p>○研究機構に設置した脳科学融合研究センター及び環境科学研究センターを重点研究拠点として整備し、世界水準の研究を推進する。</p>
				<p>(研究成果の社会還元に関する目標を達成するための具体的措置)</p> <p>○現代的課題の解決に関連する研究成果を総合研究機構において集約し、研究情報ネットワークを通じて効果的に情報発信する。</p> <p>○<u>地域オープンイノベーションセンター</u>を中心とする産学官連携活動を強化し、大学における研究シーズと社会的ニーズとの積極的なマッチングを図り、共同研究等を推進する。さらに、大学における知的財産の活用及び技術移転を積極的に推進する。</p> <p>○総合研究機構のプロジェクト研究センターにおいて、研究成果の社会還元を図るプロジェクトを積極的に推進する。</p>	<p>(研究成果の社会還元に関する目標を達成するための具体的措置)</p> <p>○現代的課題の解決に関連する研究成果を研究機構において集約し、研究情報ネットワークを通じて効果的に情報発信する。</p> <p>○<u>オープンイノベーションセンター</u>を中心とする産学官連携活動を強化し、大学における研究シーズと社会的ニーズとの積極的なマッチングを図り、共同研究等を推進する。さらに、大学における知的財産の活用及び技術移転を積極的に推進する。</p> <p>○研究機構のプロジェクト研究センターにおいて、研究成果の社会還元を図るプロジェクトを積極的に推進する。</p>
				<p>3 その他の目標を達成するための措置</p> <p>(1) 社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置</p> <p>(社会との連携及び社会貢献に関する目標を達成するための具体的措置)</p> <p>○<u>地域オープンイノベーションセンター</u>におけるリエゾンオフィス機能を強化し、地域産業の発展を通じて社会に貢献する。</p>	<p>3 その他の目標を達成するための措置</p> <p>(1) 社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置</p> <p>(社会との連携及び社会貢献に関する目標を達成するための具体的措置)</p> <p>○<u>オープンイノベーションセンター</u>におけるリエゾンオフィス機能を強化し、地域産業の発展を通じて社会に貢献する。</p>

番号	大学名	変更区分	変更理由	変更内容	
				変更前	変更案
20	埼玉大学	計画	学内組織名称変更のため	<p>Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するためにとるべき措置 (外部研究資金等の自己収入の増加に関する目標を達成するための具体的措置)</p> <p>○総合研究機構を通じて、各種競争的研究資金の公募情報等を教員にきめ細かく周知して申請の促進を図るとともに、競争的資金獲得に結び付く可能性の高い研究を支援する。</p> <p>○地域オープンイノベーションセンターにおいて、産学官連携コーディネーターによる教員の研究成果と企業等のニーズとのマッチングの取組みを促進し、共同研究の実施件数の増加による外部研究資金獲得額の増加を目指す。また、知的財産の創出とその有効活用による自己収入の増加のため、知的財産コーディネーターによる知的財産活用や技術移転等の取組みを推進する。</p>	<p>Ⅲ 財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するためにとるべき措置 (外部研究資金等の自己収入の増加に関する目標を達成するための具体的措置)</p> <p>○研究機構を通じて、各種競争的研究資金の公募情報等を教員にきめ細かく周知して申請の促進を図るとともに、競争的資金獲得に結び付く可能性の高い研究を支援する。</p> <p>○オープンイノベーションセンターにおいて、産学官連携コーディネーターによる教員の研究成果と企業等のニーズとのマッチングの取組みを促進し、共同研究の実施件数の増加による外部研究資金獲得額の増加を目指す。また、知的財産の創出とその有効活用による自己収入の増加のため、知的財産コーディネーターによる知的財産活用や技術移転等の取組みを推進する。</p>
25	東京学芸大学	計画	学内組織名称変更のため	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>2 研究に関する目標を達成するための措置 (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>① 教育実践研究推進機構の特別開発研究プロジェクトをはじめ、本学の研究プロジェクトの実績を評価し、改善する。 (2) 研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置</p> <p>①-1 教育実践研究推進機構の特別開発研究プロジェクトをはじめ、本学の研究プロジェクトにより多くの教員が参加できる体制を整備する。</p> <p>3 その他の目標を達成するための措置 (3) 附属学校に関する目標を達成するための措置</p> <p>②-1 教育実践研究推進機構において、大学と附属学校の実践的な共同研究を推進する。</p>	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>2 研究に関する目標を達成するための措置 (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>① 教育実践研究推進本部の特別開発研究プロジェクトをはじめ、本学の研究プロジェクトの実績を評価し、改善する。 (2) 研究実施体制等の整備に関する目標を達成するための措置</p> <p>①-1 教育実践研究推進本部の特別開発研究プロジェクトをはじめ、本学の研究プロジェクトにより多くの教員が参加できる体制を整備する。</p> <p>3 その他の目標を達成するための措置 (3) 附属学校に関する目標を達成するための措置</p> <p>②-1 教育実践研究推進本部において、大学と附属学校の実践的な共同研究を推進する。</p>
38	金沢大学	目標	学内組織名称変更のため	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>3 その他の目標 (2) 国際化に関する目標</p> <p>○ 国際交流本部を中心とし、大学の国際化を推進する。</p>	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>3 その他の目標 (2) 国際化に関する目標</p> <p>○ 国際機構を中心とし、大学の国際化を推進する。</p>
43	静岡大学	計画	学内組織名称変更のため	<p>3 その他の目標を達成するための措置 (1) 社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置</p> <p>④ 地域連携協働センター等のマネジメント機能を強化する。</p>	<p>3 その他の目標を達成するための措置 (1) 社会との連携や社会貢献に関する目標を達成するための措置</p> <p>④ イノベーション社会連携推進機構等のマネジメント機能を強化する。</p>
52	京都大学	計画	学内組織名称変更のため	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>3 その他の目標を達成するための措置 (3) 附属病院に関する目標を達成するための措置</p> <p>③ 先端的医療の開発と実践に関する目標を達成するための措置 ・探索医療センターを活用して、臨床研究を推進するための支援体制を強化し、先進医療や先端医療を実践しやすい環境を整備する。</p>	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>3 その他の目標を達成するための措置 (3) 附属病院に関する目標を達成するための措置</p> <p>③ 先端的医療の開発と実践に関する目標を達成するための措置 ・臨床研究総合センターを活用して、臨床研究を推進するための支援体制を強化し、先進医療や先端医療を実践しやすい環境を整備する。</p>

番号	大学名	変更区分	変更理由	変更内容	
				変更前	変更案
83	政策研究大学院大学	目標	学内組織名称変更のため	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>2 研究に関する目標</p> <p>(2) 研究実施体制等に関する目標</p> <p>16 本学と公共政策の各分野に関して優れた実績を有する各省庁政策研究所等との連携による先端的な政策研究教育の拠点を創出する。併せて、国の内外に増大する公共政策に関する高度の研修ニーズに対応した研修体制の整備を目的とする政策研究院機構（仮称）の創設を目指す。</p>	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>2 研究に関する目標</p> <p>(2) 研究実施体制等に関する目標</p> <p>16 本学と公共政策の各分野に関して優れた実績を有する各省庁政策研究所等との連携による先端的な政策研究教育の拠点を創出する。併せて、国の内外に増大する公共政策に関する高度の研修ニーズに対応した研修体制の整備を目的とする政策研究院を創設する。</p>
		計画	学内全てのセンターを政策研究センターに一元化したため	<p>2 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>1 2-1 学内の各研究センターの機能を活用しつつ、政策ニーズを先取りした調査研究の実施、関連する情報・データの収集・分析、政策の具体的な選択肢の提言等を行う基盤を整備すること等により、学問的基盤のもとに現実課題に立脚した政策研究を遂行する卓抜した研究拠点を創出する。</p>	<p>2 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置</p> <p>1 2-1 政策研究センターの機能を活用しつつ、政策ニーズを先取りした調査研究の実施、関連する情報・データの収集・分析、政策の具体的な選択肢の提言等を行う基盤を整備すること等により、学問的基盤のもとに現実課題に立脚した政策研究を遂行する卓抜した研究拠点を創出する。</p>



国立大学法人の中期目標変更原案及び中期計画変更案について  
(業務及び財務等審議専門部会付託事項)

1. 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画の変更 26 法人

(1) 重要財産譲渡の計画を新規に盛り込む又は追加するもの等 25 法人 42 事案

○ 土地の譲渡内容 25 法人 33 事案

- ・ 道路整備等のため国又は自治体等に譲渡 13 法人 17 事案  
(北海道、東京 等)
- ・ 保有資産を見直し、利用率の低下した建物を廃止し、その用地等を譲渡  
13 法人 16 事案 (小樽、埼玉、大阪 等)

○ 建物の譲渡内容 8 法人 8 事案

- ・ 保有資産見直しにより利用率の低下した建物を譲渡 5 法人 5 事案  
(筑波、信州 等)
- ・ 町の景観復元のため自治体に譲渡 (滋賀)
- ・ 土地のみの譲渡計画としていたところ、情勢分析の結果、建物も併せて譲渡  
する方が有利と判断し建物を追加で譲渡 (東京医科歯科)
- ・ 自治体から借用していた土地について自治体からの返還要請に基づき返還する  
ことに伴い、建物を譲渡 (静岡)

○ 船舶の譲渡内容 1 法人 1 事案

- ・ 代船竣工以降の使用計画がないことに伴い譲渡 (北海道)

(2) 重要財産担保の計画を追加するもの 1 法人 1 事案

- ・ 伊都新キャンパス施設整備のため、箱崎地区敷地を担保に供するもの (九州)

2. 施設・設備に関する計画の変更 1 法人

○ 民間金融機関からの長期借入金を活用した施設整備事業を新たに行うこと  
による計画の変更

- ・ 民間金融機関借入、職員宿舎改修 (愛知教育)

### 3. 中期目標期間を超える債務負担に伴う計画の変更 2 法人

- 民間金融機関からの長期借入金等を活用した事業の債務を負担することによる計画の変更

- ・ PFI事業、クリニカルリサーチセンター施設整備事業（東京）
- ・ 民間金融機関借入、職員宿舎改修（愛知教育）

### 4. 別表の変更 27 法人

- 教育関係共同利用拠点の認定に伴う目標の変更 7 法人

北海道、東京外国語、東京海洋、新潟、金沢、静岡、広島

- 新研究科・新学部等の設置に伴う目標・計画の変更 4 法人

理工学部（群馬）、応用生命科学部共同獣医学科（岐阜）  
理工学府（群馬）、国際社会科学府（横浜国立）、総合生存学館（京都）

- 既存研究科・学部の入学定員の変更に伴う計画の変更 19 法人

- ・ 定員増 14 法人

医学部（弘前、東北、千葉、東京医科歯科、新潟、信州、神戸、広島、山口、香川）、医学群（筑波）、教育学部教員養成分野（福岡教育）  
理工学研究科（弘前）、人間総合科学研究科（筑波）、工学研究科（福井、名古屋工業）、農学研究科（神戸）、統合新領域学府（九州）

- ・ 定員減 11 法人

工学部（群馬）、人文学部（新潟、信州）、農学部（神戸）、経済学部（佐賀）  
教育学研究科（弘前）、工学研究科（群馬）、国際社会科学府（横浜国立）、  
医学系研究科（福井）、経済学研究科（神戸）、人文科学府（九州）、医歯学総合研究科（鹿児島）  
実務法学研究科（新潟）、法務学府（九州）、法曹養成研究科（熊本）

○ 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画の変更 26法人

番号	大学名	変更理由	変更内容
1	北海道大学	・おしよる丸の代船建造が決定し、代船の竣工予定である平成26年以降の使用計画がないため。 ・北海道宗谷総合振興局からの水道施設及び設備の建設に伴う土地譲渡の要請に応じるため。	・水産学部附属練習船1隻(北海道函館市 おしよる丸 1, 396トン)を譲渡する。 ・北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーション北管理部天塩研究林の土地の一部(北海道天塩郡幌延町 2, 038㎡)を譲渡する。
4	小樽商科大学	老朽化に伴う利用率の低下等により、当該職員宿舎を廃止し、土地を譲渡することを決定したため。	1. 外国人教師宿舎の土地の全部(北海道小樽市入船5丁目12番1 343.91㎡)を譲渡する。 2. 緑1丁目宿舎の土地の一部(北海道小樽市緑1丁目50番14 874.78㎡)を譲渡する。
16	筑波大学	老朽化に伴う利用率の低下等により、当該職員宿舎を廃止し、今後も有効活用の見込みがないことから、譲渡することとしたため	・竹園3丁目宿舎の土地及び建物(茨城県つくば市竹園3丁目36番)を譲渡する。
20	埼玉大学	老朽化に伴う利用率の低下及び維持管理に多額の経費を要するため当該施設を廃止し、譲渡することとしたため	宿泊施設・管理人宿舎(埼玉県さいたま市浦和区常盤6-3-2)の土地(894.12㎡)を譲渡する。
22	東京大学	国、埼玉県、富良野市、湖西市の実施する公共事業他(道路整備など)に必要な本学の土地の一部について、当該地方公共団体等からの譲渡要望に応じるため。	・大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林の土地の一部(北海道富良野市山部 325.72㎡)を譲渡する。 ・大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林の土地の一部(北海道富良野市麓郷 189.65㎡)を譲渡する。 ・大学院農学生命科学研究科附属演習林北海道演習林の土地の一部(北海道富良野市麓郷6,787.34㎡)を譲渡する。 ・大学院農学生命科学研究科附属演習林秩父演習林の土地の一部(埼玉県秩父市大滝字栃本タキ川トハ5643-1 844.05㎡)を譲渡する。 ・大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所の土地の一部(静岡県湖西市新居町新居字吹寄下 191.36㎡)を譲渡する。
23	東京医科歯科大学	3)土地のみの譲渡としていたが、市場動向の変化等に対応するため、建物付きで譲渡する。 4)東京都の外堀通り歩道拡幅事業に必要な本学土地の一部について、当該自治体からの譲渡要望に応じるため。	(変更前) 3)妙高高原地区(赤倉寮)の土地(新潟県妙高市大字関山字妙高山 6087番1 1,655.54㎡)を譲渡する。  (変更後) 3)妙高高原地区(赤倉寮)の土地(新潟県妙高市大字関山字妙高山 6087番1 1,655.54㎡)及び建物を譲渡する。 4)湯島地区の土地の一部(東京都文京区湯島1丁目5番45 25.14㎡)を譲渡する。
25	東京学芸大学	売却予定地の分筆及び実地測量による地番及び面積変更のため	(変更前) 2. 大泉公務員宿舎の土地(東京都練馬区東大泉5丁目323番3, 323番4 2,838.41㎡)を譲渡する。  (変更後) 2. 大泉公務員宿舎の土地(東京都練馬区東大泉5丁目323番3 1,760.44㎡、323番11 1,315.65㎡)を譲渡する。

番号	大学名	変更理由	変更内容
34	新潟大学	新潟市が実施する公道拡幅工事に必要となる本学の土地の一部について、同市からの譲渡申請に応じるため	(4) 歯学部の土地の一部（新潟県新潟市中央区学校町通二番町5274番1、面積226.81㎡）を譲渡する。
38	金沢大学	保有資産を見直したところ、今後有効活用できる見込みがなく、教育研究上支障もないことから譲渡を決定したため	・ 小木3団地所長宿舎跡地（石川県鳳珠郡能登町字小木ソ4-3 240.29㎡）を譲渡する。
40	山梨大学	老朽化に伴う利用率の低下等により廃止した職員宿舎の跡地について、今後の利用計画がなく、教育研究上支障もないことから譲渡を決定したため。	・ 小原宿舎の土地（山梨県山梨市小原西595番1,002.22㎡）を譲渡する。
41	信州大学	保有資産を見直したところ、今後有効活用できる見込みがなく、教育研究上支障もないことから譲渡を決定したため	・ 蓼科高原研究所の土地と建物（長野県茅野市北山宇南山栗平ヨリ三室大萱迄4035番地1139外1筆 土地面積3,475㎡、建物面積120.06㎡）を譲渡する。 ・ 清水宿舎跡地の土地（長野県松本市清水二丁目1728番3 土地面積527.43㎡）を譲渡する。
43	静岡大学	土地について無償貸与を受けていたが津波被害が及ばない同地区に企業を誘致するため浜松市から土地の返還要請があり応じることとし、本学の所有の建物については浜松市へ有償譲渡するため。 藤枝市からの道路整備に伴う土地譲渡の要請に応じるため。	・ 静岡大学イノベーション社会連携推進機構棟の建物の全部（浜松市北区新都田一丁目3番4号 1,132.03㎡）を譲渡する。  ・ 静岡大学藤枝宿舎の土地の一部（静岡県藤枝市仮宿大蔵地663番1 45.13㎡）を譲渡する。
45	名古屋大学	老朽化に伴う利用率の低下等により、不要となる蓼科宿泊施設（高原気候医学研究所）を廃止し、譲渡することとしたため	・ 蓼科宿泊施設（高原気候医学研究所）の跡地の全部（長野県茅野市北山4035番31 外14,474.92㎡）を譲渡する。
50	滋賀大学	彦根市からの江戸時代の武家屋敷の景観復元を見据えた「特別史跡彦根城跡整備基本計画」に基づく土地譲渡の要請に応じるため	金亀町団地の土地 3,183㎡ 及び建物 268㎡（滋賀県彦根市金亀町26番 外2筆）を譲渡する。
52	京都大学	熊取町が実施する交差点改良事業に必要となる本学の土地の一部について、当該地方公共団体からの譲渡要望に応じるため。	・ 原子炉実験所の土地の一部（大阪府泉南郡熊取町朝代西二丁目984-1 他2筆 216.06㎡）を譲渡する。
55	大阪大学	学外課外教育施設として保有していたが、利用者数が減少していること等から、譲渡することを決定したため。 学生宿舎用地等として保有していたが、利用計画の見直しにより、譲渡することを決定したため。	・ 山の家の土地（建物含む）（長野県北安曇郡白馬村大字神城字山の神22203番63 1,205.58㎡）を譲渡する。 ・ 豊中キャンパスの土地の一部（大阪府豊中市待兼山町1番4（一部）外 4,566.00㎡）を譲渡する。
58	神戸大学	・ 不動産業者からのガス及び水道の埋設管設置に伴う土地譲渡の要請に応じるため。 ・ 老朽化に伴う利用率の低下等により、不要となる高尾職員宿舎を廃止し、土地を譲渡することとしたため。	・ 六甲台第2キャンパスの土地の一部（兵庫県神戸市灘区六甲台町3-1、41.59㎡）を譲渡する。 ・ 高尾団地の土地の一部（兵庫県神戸市灘区高尾通3丁目5番1、1,073.85㎡）を譲渡する。

番号	大学名	変更理由	変更内容
61	和歌山大学	紀伊合同宿舎は、財務省が管轄する1号棟～4号棟の国家公務員宿舎のうち4号棟建物および同敷地を平成16年度の法人化の際に政府出資を受けたもので、以後、職員宿舎として使用してきたが、財務省近畿財務局長より平成24年7月末日を以て廃止するとの通知があり、同時に4棟一体として設置している浄化槽及び受水槽も撤去されることになり、建物としての維持が出来なくなったため。	・紀伊合同宿舎の土地（和歌山県和歌山市紙波川原30番地931, 488.55㎡）及び建物（延面積1,147㎡）を譲渡する。
63	島根大学	一般国道488号道路災害復旧事業の実施に伴い、地方公共団体から強い要請があり、土地の一部を譲渡する必要が生じたため。	・匹見演習林の土地の一部（島根県益田市匹見町匹見口335番3 472.44㎡）を譲渡する。
65	広島大学	老朽化に伴う利用率の低下等により、当該施設を廃止し、江田島市が計画する自然環境体験学習事業に必要な当該土地の譲渡要望に応じるため。	・沖美団地の土地（広島県江田島市沖美町岡大王字鎌田2153番7及び8 4,052.53㎡）を譲渡する。
67	徳島大学	老朽化、利用ニーズの変化による利用率の低下及び多額の改修経費を要し、また、利用ニーズにも合致しないため廃止し、譲渡することとしたため	・碧水寮の跡地（徳島県鳴門市撫養町岡崎字二等道路東118、土地面積255㎡）を譲渡する。
69	香川大学	利用率の低下及び維持管理に多額の経費を要することから、当該施設を廃止し、譲渡することとしたため。	・農学部実験実習宿泊施設の土地（香川県さぬき市前山字青木山2730番3、1,241.33㎡）及び建物（鉄筋コンクリート造2階建延床面積372.49㎡）を譲渡する。
70	愛媛大学	愛媛県東温市の道路拡張事業に必要な道路用地について、当該自治体からの譲渡要請に応じるため。	・医学部及び附属病院の土地の一部（愛媛県東温市志津川字川崎500番1外2筆 510㎡）を譲渡する。
73	九州大学	福岡県の主要地方道福岡東環状線道路改良事業に必要な道路用地について、当該自治体からの譲渡要望に応じるため  理学系施設移転整備事業について、箱崎地区跡地処分収入を財源とした長期借入金の活用による事業であるため	1 重要な財産を譲渡する計画 農学部附属農場の土地の一部（福岡県糟屋郡粕屋町大字仲原字ムタ田2410番1外 面積3,956.20㎡）を譲渡する。  2 重要な財産を担保に供する計画 伊都新キャンパス施設の整備に必要な経費の長期借入に伴い、箱崎地区の敷地について担保に供する。
78	大分大学	大分市からの大分都市計画道路中島錦町線（南工区）事業による拡幅計画に伴う土地譲渡の要請に応じるため。	・国際交流会館の土地の一部（195.66㎡）（大分県大分市錦町一丁目3305番2（通称：大分市錦町1丁目7-36））を譲渡する。
80	鹿児島大学	本学敷地を含む急傾斜地に法面工事が施工されることに伴い、病院土地を譲渡するため	・医学部・歯学部附属病院の土地の一部（鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘八丁目997番1、543.32㎡）を譲渡する。



○ 施設・設備に関する計画の変更

番号	大学名	変更理由	変更内容															
46	愛知教育大学	(長期借入金) 平成25年度に計画している職員宿舎改修事業(平成26年2月竣工予定)に必要な資金を長期借入金で調達することに伴う変更。	<p>(変更前)</p> <p>X その他</p> <p>1 施設・設備に関する計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設・設備の内容</th> <th>予定額 (百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小規模改修</td> <td>210</td> <td>国立大学財務・経営センター 施設費交付金 (210百万円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(変更後)</p> <p>X その他</p> <p>1 施設・設備に関する計画</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設・設備の内容</th> <th>予定額 (百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員宿舎改修事業</td> <td>総額 410</td> <td>長期借入金 (200百万円)</td> </tr> <tr> <td>小規模改修</td> <td></td> <td>国立大学財務・経営センター施設費 交付金 (210百万円)</td> </tr> </tbody> </table>	施設・設備の内容	予定額 (百万円)	財源	小規模改修	210	国立大学財務・経営センター 施設費交付金 (210百万円)	施設・設備の内容	予定額 (百万円)	財源	職員宿舎改修事業	総額 410	長期借入金 (200百万円)	小規模改修		国立大学財務・経営センター施設費 交付金 (210百万円)
施設・設備の内容	予定額 (百万円)	財源																
小規模改修	210	国立大学財務・経営センター 施設費交付金 (210百万円)																
施設・設備の内容	予定額 (百万円)	財源																
職員宿舎改修事業	総額 410	長期借入金 (200百万円)																
小規模改修		国立大学財務・経営センター施設費 交付金 (210百万円)																

○ 中期目標期間を超える債務負担に伴う計画の変更

- ・ 民間金融機関からの長期借入金等を活用した事業等の債務を負担することによる計画の変更 2法人

番号	大学名	変更理由	変更内容																								
22	東京大学	(PFI事業) 新規PFI事業(本郷)クリニカルリサーチセンター施設整備事業事業契約締結に伴う変更。	<p>(本郷) クリニカルリサーチセンター施設整備事業</p> <p>・ 事業総額: 35,956百万円</p> <p>・ 事業期間: 平成24年度~平成44年度(21年間) (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>中期目 標期間 小計</th> <th>次期以 降事業 費</th> <th>総事業 費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設整備 費補助 金及び 大学 資金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>256</td> <td>7,511</td> <td>7,767</td> <td>17,292</td> <td>25,059</td> </tr> <tr> <td>運費交 付金</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>129</td> <td>300</td> <td>429</td> <td>10,468</td> <td>10,897</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H24	H25	H26	H27	中期目 標期間 小計	次期以 降事業 費	総事業 費	施設整備 費補助 金及び 大学 資金	0	0	256	7,511	7,767	17,292	25,059	運費交 付金	0	0	129	300	429	10,468	10,897
年度	H24	H25	H26	H27	中期目 標期間 小計	次期以 降事業 費	総事業 費																				
施設整備 費補助 金及び 大学 資金	0	0	256	7,511	7,767	17,292	25,059																				
運費交 付金	0	0	129	300	429	10,468	10,897																				
46	愛知教育大学	(長期借入金) 平成25年度に計画している職員宿舎改修事業(平成26年2月竣工予定)に必要な資金を長期借入金で調達することに伴う変更。	<p>(長期借入金)</p> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>中期目 標期間 小計</th> <th>次期以 降償還 額</th> <th>総債務 償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財源 長期借入 金償還金 (民間金 融機関)</td> <td>二</td> <td>二</td> <td>二</td> <td>二</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>180</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)金額については見込みであり、業務の実施状況等により変更されることもある。</p>	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	中期目 標期間 小計	次期以 降償還 額	総債務 償還額	財源 長期借入 金償還金 (民間金 融機関)	二	二	二	二	10	10	20	180	200				
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	中期目 標期間 小計	次期以 降償還 額	総債務 償還額																		
財源 長期借入 金償還金 (民間金 融機関)	二	二	二	二	10	10	20	180	200																		

○ 別表(学部、研究科等)の変更: 別添



## 国立大学法人北海道大学の中期目標新旧対照表

現 行	変 更 案	変 更 理 由
<p>◆ 2 中期目標の期間及び教育研究組織</p> <p>この中期目標を達成するため、別表 1 に記載する学部、研究科等及び別表 2 に記載する共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点を置く。</p>	<p>◆ 2 中期目標の期間及び教育研究組織</p> <p>この中期目標を達成するため、別表 1 に記載する学部、研究科等及び別表 2 に記載する共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点を置く。</p>	<p>平成 24 年 7 月 31 日付けで北方生物圏フイールド科学センター森林圏ステーション及び水圏ステーション（厚岸臨海実験所、室蘭臨海実験所）が教育関係共同利用拠点到設定されたため。</p>
<p>別表 2（共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【共同利用・共同研究拠点】</p> <p>低温科学研究所 電子科学研究所 遺伝子病制御研究所 触媒化学研究センター スラッグ研究センター 情報基盤センター 人獣共通感染症リサーチセンター</p> <p>【教育関係共同利用拠点】</p> <p>亜寒帯海域における洋上教育のための共同利用拠点（水産学部附属練習船おしよろ丸） フイールドを使った森林環境と生態系保全に関する実践的教育共同利用拠点（北方生物圏フイールド科学センター森林圏ステーション） 寒流域における海洋生物・生態系の統合的教育共同利用拠点（北方生物圏フイールド科学センター水圏ステーション） （厚岸臨海実験所、室蘭臨海実験所）</p> </div>	<p>別表 2（共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【共同利用・共同研究拠点】</p> <p>低温科学研究所 電子科学研究所 遺伝子病制御研究所 触媒化学研究センター スラッグ研究センター 情報基盤センター 人獣共通感染症リサーチセンター</p> <p>【教育関係共同利用拠点】</p> <p>亜寒帯海域における洋上教育のための共同利用拠点（水産学部附属練習船おしよろ丸） フイールドを使った森林環境と生態系保全に関する実践的教育共同利用拠点（北方生物圏フイールド科学センター森林圏ステーション） 寒流域における海洋生物・生態系の統合的教育共同利用拠点（北方生物圏フイールド科学センター水圏ステーション） （厚岸臨海実験所、室蘭臨海実験所）</p> </div>	



国立大学法人東京外国語大学の中期目標 新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由								
<p>◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部、研究科及び別表2に記載する共同利用・共同研究拠点を置く。</p>	<p>◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部、研究科及び別表2に記載する共同利用・共同研究拠点及び教育関係共同利用拠点を置く。</p>	<p>留学生日本語教育研究センターが教育関係共同利用拠点到に認定されたことに伴う変更</p>								
<p>別表1 (学部、研究科等)</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="635 1225 769 2107">学 部</td> <td data-bbox="635 338 769 1225">言語文化学部 国際社会学部</td> </tr> <tr> <td data-bbox="769 1225 904 2107">研 究 科</td> <td data-bbox="769 338 904 1225">総合国際学研究科</td> </tr> </table>	学 部	言語文化学部 国際社会学部	研 究 科	総合国際学研究科	<p>別表1 (学部、研究科等)</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="635 125 769 1225">学 部</td> <td data-bbox="635 338 769 1225">言語文化学部 国際社会学部</td> </tr> <tr> <td data-bbox="769 125 904 1225">研 究 科</td> <td data-bbox="769 338 904 1225">総合国際学研究科</td> </tr> </table>	学 部	言語文化学部 国際社会学部	研 究 科	総合国際学研究科	
学 部	言語文化学部 国際社会学部									
研 究 科	総合国際学研究科									
学 部	言語文化学部 国際社会学部									
研 究 科	総合国際学研究科									
<p>別表2 (共同利用・共同研究拠点)</p> <p>アジア・アフリカ言語文化研究所</p>	<p>別表2 (共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点)</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="904 125 1219 1225">共同利用・共同研究拠点</td> <td data-bbox="904 338 1219 1225">アジア・アフリカ言語文化研究所</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1219 125 1461 1225">教育関係共同利用拠点</td> <td data-bbox="1219 338 1461 1225">留学生日本語教育センター</td> </tr> </table>	共同利用・共同研究拠点	アジア・アフリカ言語文化研究所	教育関係共同利用拠点	留学生日本語教育センター					
共同利用・共同研究拠点	アジア・アフリカ言語文化研究所									
教育関係共同利用拠点	留学生日本語教育センター									



国立大学法人東京海洋大学の中期目標新旧対照表

現 行	変 更 案	変 更 事 由									
<p>◆ 中期目標の期間及び教育研究組織</p> <p>2 教育研究組織</p> <p>この中期目標を達成するため、別表に記載する学部及び研究科を置く。</p>	<p>◆ 中期目標の期間及び教育研究組織</p> <p>2 教育研究組織</p> <p>この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部及び研究科並びに別表2に記載する教育関係共同利用拠点を置く。</p>	<p>平成24年7月31日より練習船神鷹丸が教育関係共同利用拠点到に認定されたため。</p>									
<p>別表(学部、研究科)</p> <table border="1" data-bbox="772 1532 1080 2058"> <tr> <td>学 部</td> <td>海洋科学部 海洋工学部</td> </tr> <tr> <td>研 究 科</td> <td>海洋科学技術研究科</td> </tr> </table>	学 部	海洋科学部 海洋工学部	研 究 科	海洋科学技術研究科	<p>別表1(学部、研究科)</p> <table border="1" data-bbox="772 665 1080 1191"> <tr> <td>学 部</td> <td>海洋科学部 海洋工学部</td> </tr> <tr> <td>研 究 科</td> <td>海洋科学技術研究科</td> </tr> </table> <p>別表2(教育関係共同利用拠点)</p> <table border="1" data-bbox="1236 665 1370 1191"> <tr> <td>東京湾から熱帯太平洋海域における海洋科学教育のための共同利用拠点 (練習船神鷹丸)</td> </tr> </table>	学 部	海洋科学部 海洋工学部	研 究 科	海洋科学技術研究科	東京湾から熱帯太平洋海域における海洋科学教育のための共同利用拠点 (練習船神鷹丸)	
学 部	海洋科学部 海洋工学部										
研 究 科	海洋科学技術研究科										
学 部	海洋科学部 海洋工学部										
研 究 科	海洋科学技術研究科										
東京湾から熱帯太平洋海域における海洋科学教育のための共同利用拠点 (練習船神鷹丸)											



## 国立大学法人新潟大学の中期目標新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 2 教育研究組織</p> <p>この中期目標に記載する学部，研究科等及び別表 2 に記載する共同利用・共同研究拠点を置くものとする。</p>	<p>◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 2 教育研究組織</p> <p>この中期目標を達成するため，別表 1 に記載する学部，研究科等及び別表 2 に記載する共同利用・共同研究拠点，<u>教育関係共同利用拠点を置くものとする。</u></p>	<p>平成 24 年 7 月 31 日付けで農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーションが「佐渡島の自然環境を利用した教育関係共同利用拠点」に認定されたため</p>

## 国立大学法人新潟大学の中期目標新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>別表 2 (共同利用・共同研究拠点)</p> <p>脳研究所</p>	<p>別表 2 (共同利用・共同研究拠点)</p> <p>脳研究所</p> <p><u>(教育関係共同利用拠点)</u></p> <p>佐渡島の自然環境を利用した教育関係共同利用拠点 (農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーション)</p>	<p>平成 24 年 7 月 31 日付けで農学部附属フィールド科学教育研究センター佐渡ステーションが「佐渡島の自然環境を利用した教育関係共同利用拠点」に認定されたため</p>

国立大学法人金沢大学の中期目標新旧対照表

現 行	変 更 案	変 更 理 由
<p>◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学域、研究科及び別表2に記載する共同利用・共同研究拠点を置く。</p> <p>1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 3 その他の目標 (2) 国際化に関する目標 ○ 国際交流本部を中心とし、大学の国際化を推進する。</p> <p>別表2 (共同利用・共同研究拠点) (中期目標 別紙)</p> <p>がん進展制御研究所</p>	<p>◆ 中期目標の期間及び教育研究組織 2 教育研究組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学域、研究科及び別表2に記載する共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点を置く。</p> <p>1 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 3 その他の目標 (2) 国際化に関する目標 ○ 国際機構を中心とし、大学の国際化を推進する。</p> <p>別表2 (共同利用・共同研究拠点、教育関係共同利用拠点) (中期目標 別紙)</p> <p>(共同利用・共同研究拠点) がん進展制御研究所 (教育関係共同利用拠点) 環日本海地域環境研究センター 臨海実験施設</p>	<p>「環日本海地域環境研究センター 臨海実験施設」が「教育関係共同利用拠点」に認定されたことによる変更</p> <p>平成24年4月に「国際交流本部」が「国際機構」に改組されたことによる変更</p> <p>「環日本海地域環境研究センター 臨海実験施設」が「教育関係共同利用拠点」に認定されたことによる変更</p>



国立大学法人静岡大学の中期目標新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p>◆ 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織</p> <p>1 中期目標の期間 平成22年4月1日～平成28年3月31日</p> <p>2 教育研究上の基本組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部、研究科等を置く。</p> <p>(略)</p> <p>(追記)</p>	<p>◆ 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織</p> <p>1 中期目標の期間 平成22年4月1日～平成28年3月31日</p> <p>2 教育研究上の基本組織 この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部、研究科等及び別表2に記載する教育関係共同利用拠点<sup>1</sup>を置く。</p> <p>(略)</p> <p>別表2 (教育関係共同利用拠点)</p> <p><u>東海地域における暖地型農業実践教育共同利用拠点一茶・ミカン・トマトによる習熟度対応型フイールド教育一(農学部附属地域フイールド科学教育研究センター 一持続型農業生態系部門 (農場) )</u></p> <p><u>一里山から森林限界まで一多様な自然教育素材を生かした南アルプス・富士圏森林生態系環境教育拠点 (農学部附属地域フイールド科学教育研究センター森林生態系部門南アルプス (中川根) フイールド)</u></p>	<p>文部科学大臣から教育関係共同利用拠点の認定を受けたため</p>



国立大学法人広島大学の中期目標 新旧対照表

現行	変更案	変更理由
<p>中期目標の別表2(共同利用・共同研究拠点, 教育関係共同利用拠点)</p> <p>(略)</p> <p>(共同利用・共同研究拠点)          原爆放射線医科学研究所          放射光科学研究センター          (教育関係共同利用拠点)          食料の生産環境と食の安全に配慮した循環型酪農教育拠点          (広島大学大学院生物圏科学研究科附属瀬戸内圏ワールド科学          教育研究センター西条ステーション(農場))</p>	<p>中期目標の別表2(共同利用・共同研究拠点, 教育関係共同利用拠点)</p> <p>(略)</p> <p>(共同利用・共同研究拠点)          原爆放射線医科学研究所          放射光科学研究センター          (教育関係共同利用拠点)          食料の生産環境と食の安全に配慮した循環型酪農教育拠点          (広島大学大学院生物圏科学研究科附属瀬戸内圏ワールド科学          教育研究センター西条ステーション(農場))          瀬戸内海における海上里海教育のための共同利用拠点          (広島大学生産学部附属練習船豊潮丸)          瀬戸内海における里海学ワールド教育拠点          (広島大学大学院生物圏科学研究科附属瀬戸内圏ワールド科学          教育研究センター竹原ステーション(水産実験所))</p>	<p>平成24年7月31日          付けで生物生産学          部附属練習船豊潮          丸及び大学院生物          圏科学研究科附属          瀬戸内圏ワールド          科学教育研究セン          ター竹原ステーション          (水産実験所)が          「教育関係共同利用          拠点」に認定された          ため。</p>



# 国立大学法人弘前大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更 案								
<p style="text-align: center;">平成 25 年 度</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>人文学部 1, 380人</p> <p>教育学部 (うち教員養成に係る分野) 960人</p> <p>医学部 1, 570人</p> <p>理工学部 (うち医師養成に係る分野) 710人</p> <p>農学生命科学部 1, 220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p> </td> <td style="width: 50%; text-align: right;"> <p>680人</p> <p>710人</p> </td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 184人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 160人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>農学生命科学部 120人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会部 18人</p> <p>地域社会部 (うち博士課程) 18人</p> </td> <td style="width: 50%; text-align: right;"> <p>32人</p> <p>32人</p> <p>84人</p> <p>84人</p> <p>200人</p> <p>200人</p> <p>77人</p> <p>50人</p> <p>27人</p> <p>184人</p> <p>160人</p> <p>24人</p> <p>120人</p> <p>120人</p> <p>18人</p> <p>18人</p> </td> </tr> </table>	<p>人文学部 1, 380人</p> <p>教育学部 (うち教員養成に係る分野) 960人</p> <p>医学部 1, 570人</p> <p>理工学部 (うち医師養成に係る分野) 710人</p> <p>農学生命科学部 1, 220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p>	<p>680人</p> <p>710人</p>	<p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 184人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 160人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>農学生命科学部 120人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会部 18人</p> <p>地域社会部 (うち博士課程) 18人</p>	<p>32人</p> <p>32人</p> <p>84人</p> <p>84人</p> <p>200人</p> <p>200人</p> <p>77人</p> <p>50人</p> <p>27人</p> <p>184人</p> <p>160人</p> <p>24人</p> <p>120人</p> <p>120人</p> <p>18人</p> <p>18人</p>	<p style="text-align: center;">平成 25 年 度</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>人文教育学部 1, 380人</p> <p>教育学部 (うち教員養成に係る分野) 960人</p> <p>医学部 1, 572人</p> <p>理工学部 (うち医師養成に係る分野) 712人</p> <p>農学生命科学部 1, 220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p> </td> <td style="width: 50%; text-align: right;"> <p>680人</p> <p>712人</p> </td> </tr> </table> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 74人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 74人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 194人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 170人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>農学生命科学部 120人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会部 18人</p> <p>地域社会部 (うち博士課程) 18人</p> </td> <td style="width: 50%; text-align: right;"> <p>32人</p> <p>32人</p> <p>74人</p> <p>74人</p> <p>200人</p> <p>200人</p> <p>77人</p> <p>50人</p> <p>27人</p> <p>194人</p> <p>170人</p> <p>24人</p> <p>120人</p> <p>120人</p> <p>18人</p> <p>18人</p> </td> </tr> </table>	<p>人文教育学部 1, 380人</p> <p>教育学部 (うち教員養成に係る分野) 960人</p> <p>医学部 1, 572人</p> <p>理工学部 (うち医師養成に係る分野) 712人</p> <p>農学生命科学部 1, 220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p>	<p>680人</p> <p>712人</p>	<p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 74人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 74人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 194人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 170人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>農学生命科学部 120人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会部 18人</p> <p>地域社会部 (うち博士課程) 18人</p>	<p>32人</p> <p>32人</p> <p>74人</p> <p>74人</p> <p>200人</p> <p>200人</p> <p>77人</p> <p>50人</p> <p>27人</p> <p>194人</p> <p>170人</p> <p>24人</p> <p>120人</p> <p>120人</p> <p>18人</p> <p>18人</p>
<p>人文学部 1, 380人</p> <p>教育学部 (うち教員養成に係る分野) 960人</p> <p>医学部 1, 570人</p> <p>理工学部 (うち医師養成に係る分野) 710人</p> <p>農学生命科学部 1, 220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p>	<p>680人</p> <p>710人</p>								
<p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 184人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 160人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>農学生命科学部 120人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会部 18人</p> <p>地域社会部 (うち博士課程) 18人</p>	<p>32人</p> <p>32人</p> <p>84人</p> <p>84人</p> <p>200人</p> <p>200人</p> <p>77人</p> <p>50人</p> <p>27人</p> <p>184人</p> <p>160人</p> <p>24人</p> <p>120人</p> <p>120人</p> <p>18人</p> <p>18人</p>								
<p>人文教育学部 1, 380人</p> <p>教育学部 (うち教員養成に係る分野) 960人</p> <p>医学部 1, 572人</p> <p>理工学部 (うち医師養成に係る分野) 712人</p> <p>農学生命科学部 1, 220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p>	<p>680人</p> <p>712人</p>								
<p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 74人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 74人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 194人</p> <p>理学部 (うち修士課程) 170人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>農学生命科学部 120人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会部 18人</p> <p>地域社会部 (うち博士課程) 18人</p>	<p>32人</p> <p>32人</p> <p>74人</p> <p>74人</p> <p>200人</p> <p>200人</p> <p>77人</p> <p>50人</p> <p>27人</p> <p>194人</p> <p>170人</p> <p>24人</p> <p>120人</p> <p>120人</p> <p>18人</p> <p>18人</p>								
<p>変更理由</p> <p>①平成25年4月1日から医学部医学科の入学定員を2人増加し、平成25年度の収容定員が2人増となるため。</p> <p>②平成25年4月1日から教育学研究科の入学定員を10人削減し、平成25年度の収容定員が10人減となるため。</p> <p>③平成25年4月1日から理工学研究科の入学定員を10人増加し、平成25年度の収容定員が10人増となるため。</p>									

# 国立大学法人弘前大学の中期計画新旧対照表

	現 行	変 更 案													
平成26年度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 70%;"> <p>人文学部 1,380人</p> <p>教育学部 960人</p> <p>医学部 (うち教員養成に係る分野) 680人</p> <p>理学部 (うち医師養成に係る分野) 725人</p> <p>農学生命科学部 1,220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成26年度</td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 70%;"> <p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>工学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>農学生命科学部 184人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 160人</p> <p>農学生命科学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>		<p>人文学部 1,380人</p> <p>教育学部 960人</p> <p>医学部 (うち教員養成に係る分野) 680人</p> <p>理学部 (うち医師養成に係る分野) 725人</p> <p>農学生命科学部 1,220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p>	平成26年度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 70%;"> <p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>工学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>農学生命科学部 184人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 160人</p> <p>農学生命科学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> </td> </tr> </table>		<p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>工学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>農学生命科学部 184人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 160人</p> <p>農学生命科学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 70%;"> <p>人文学部 1,380人</p> <p>教育学部 960人</p> <p>医学部 (うち教員養成に係る分野) 680人</p> <p>理学部 (うち医師養成に係る分野) 729人</p> <p>農学生命科学部 1,220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成26年度</td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 70%;"> <p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 64人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 64人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>工学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>農学生命科学部 204人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 180人</p> <p>農学生命科学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> </td> </tr> </table> </td> </tr> </table>		<p>人文学部 1,380人</p> <p>教育学部 960人</p> <p>医学部 (うち教員養成に係る分野) 680人</p> <p>理学部 (うち医師養成に係る分野) 729人</p> <p>農学生命科学部 1,220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p>	平成26年度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 70%;"> <p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 64人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 64人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>工学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>農学生命科学部 204人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 180人</p> <p>農学生命科学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> </td> </tr> </table>		<p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 64人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 64人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>工学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>農学生命科学部 204人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 180人</p> <p>農学生命科学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p>	<p>①平成25年4月1日から医学部医学科の入学定員を2人増加し、平成26年度の収容定員が4人増となるため。</p> <p>②平成25年4月1日から教育学研究科の入学定員を10人削減し、平成26年度の収容定員が20人減となるため。</p> <p>③平成25年4月1日から理工学研究科の入学定員を10人増加し、平成26年度の収容定員が20人増となるため。</p>
	<p>人文学部 1,380人</p> <p>教育学部 960人</p> <p>医学部 (うち教員養成に係る分野) 680人</p> <p>理学部 (うち医師養成に係る分野) 725人</p> <p>農学生命科学部 1,220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p>														
平成26年度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 70%;"> <p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>工学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>農学生命科学部 184人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 160人</p> <p>農学生命科学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> </td> </tr> </table>		<p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>工学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>農学生命科学部 184人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 160人</p> <p>農学生命科学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p>												
	<p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 84人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>工学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>農学生命科学部 184人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 160人</p> <p>農学生命科学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p>														
	<p>人文学部 1,380人</p> <p>教育学部 960人</p> <p>医学部 (うち教員養成に係る分野) 680人</p> <p>理学部 (うち医師養成に係る分野) 729人</p> <p>農学生命科学部 1,220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p>														
平成26年度	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 70%;"> <p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 64人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 64人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>工学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>農学生命科学部 204人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 180人</p> <p>農学生命科学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> </td> </tr> </table>		<p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 64人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 64人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>工学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>農学生命科学部 204人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 180人</p> <p>農学生命科学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p>												
	<p>人文社会科学部 32人</p> <p>教育学部 (うち修士課程) 32人</p> <p>医学部 (うち修士課程) 64人</p> <p>保健学部 (うち修士課程) 64人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>理学部 (うち博士課程) 200人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 77人</p> <p>工学部 (うち修士課程) 50人</p> <p>工学部 (うち博士課程) 27人</p> <p>農学生命科学部 204人</p> <p>農学生命科学部 (うち修士課程) 180人</p> <p>農学生命科学部 (うち博士課程) 24人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち修士課程) 120人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p> <p>地域社会 (うち博士課程) 18人</p>														

# 国立大学法人弘前大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更 案								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: middle;">平成 27 年 度</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>人 文 学 部 1, 380人</p> <p>教 育 学 部 960人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち教員養成に係る分野 680人)</p> <p>医 学 部 1, 590人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち医師養成に係る分野 730人)</p> <p>理 工 学 部 1, 220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p> </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: middle;">平成 27 年 度</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>人 文 社 会 学 科 32人</p> <p>教 育 学 研 究 (うち修士課程) 32人</p> <p>医 学 研 究 (うち修士課程) 84人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 84人</p> <p>保 健 学 研 究 200人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 200人</p> <p>理 工 学 研 究 (うち修士課程) 77人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 50人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 27人</p> <p>農 学 研 究 (うち修士課程) 184人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 160人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 24人</p> <p>地 域 社 会 研 究 (うち修士課程) 120人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 120人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 18人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 18人</p> </td> </tr> </table>	平成 27 年 度	<p>人 文 学 部 1, 380人</p> <p>教 育 学 部 960人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち教員養成に係る分野 680人)</p> <p>医 学 部 1, 590人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち医師養成に係る分野 730人)</p> <p>理 工 学 部 1, 220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p>	平成 27 年 度	<p>人 文 社 会 学 科 32人</p> <p>教 育 学 研 究 (うち修士課程) 32人</p> <p>医 学 研 究 (うち修士課程) 84人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 84人</p> <p>保 健 学 研 究 200人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 200人</p> <p>理 工 学 研 究 (うち修士課程) 77人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 50人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 27人</p> <p>農 学 研 究 (うち修士課程) 184人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 160人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 24人</p> <p>地 域 社 会 研 究 (うち修士課程) 120人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 120人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 18人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 18人</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: middle;">平成 27 年 度</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>人 文 学 部 1, 380人</p> <p>教 育 学 部 960人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち教員養成に係る分野 680人)</p> <p>医 学 部 1, 596人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち医師養成に係る分野 736人)</p> <p>理 工 学 部 1, 220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p> </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; vertical-align: middle;">平成 27 年 度</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>人 文 社 会 学 科 32人</p> <p>教 育 学 研 究 (うち修士課程) 32人</p> <p>医 学 研 究 (うち修士課程) 64人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 64人</p> <p>保 健 学 研 究 200人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 200人</p> <p>理 工 学 研 究 (うち修士課程) 77人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 50人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 27人</p> <p>農 学 研 究 (うち修士課程) 204人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 180人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 24人</p> <p>地 域 社 会 研 究 (うち修士課程) 120人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 120人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 18人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 18人</p> </td> </tr> </table>	平成 27 年 度	<p>人 文 学 部 1, 380人</p> <p>教 育 学 部 960人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち教員養成に係る分野 680人)</p> <p>医 学 部 1, 596人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち医師養成に係る分野 736人)</p> <p>理 工 学 部 1, 220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p>	平成 27 年 度	<p>人 文 社 会 学 科 32人</p> <p>教 育 学 研 究 (うち修士課程) 32人</p> <p>医 学 研 究 (うち修士課程) 64人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 64人</p> <p>保 健 学 研 究 200人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 200人</p> <p>理 工 学 研 究 (うち修士課程) 77人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 50人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 27人</p> <p>農 学 研 究 (うち修士課程) 204人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 180人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 24人</p> <p>地 域 社 会 研 究 (うち修士課程) 120人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 120人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 18人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 18人</p>
平成 27 年 度	<p>人 文 学 部 1, 380人</p> <p>教 育 学 部 960人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち教員養成に係る分野 680人)</p> <p>医 学 部 1, 590人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち医師養成に係る分野 730人)</p> <p>理 工 学 部 1, 220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p>								
平成 27 年 度	<p>人 文 社 会 学 科 32人</p> <p>教 育 学 研 究 (うち修士課程) 32人</p> <p>医 学 研 究 (うち修士課程) 84人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 84人</p> <p>保 健 学 研 究 200人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 200人</p> <p>理 工 学 研 究 (うち修士課程) 77人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 50人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 27人</p> <p>農 学 研 究 (うち修士課程) 184人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 160人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 24人</p> <p>地 域 社 会 研 究 (うち修士課程) 120人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 120人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 18人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 18人</p>								
平成 27 年 度	<p>人 文 学 部 1, 380人</p> <p>教 育 学 部 960人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち教員養成に係る分野 680人)</p> <p>医 学 部 1, 596人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち医師養成に係る分野 736人)</p> <p>理 工 学 部 1, 220人</p> <p>農学生命科学部 740人</p>								
平成 27 年 度	<p>人 文 社 会 学 科 32人</p> <p>教 育 学 研 究 (うち修士課程) 32人</p> <p>医 学 研 究 (うち修士課程) 64人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 64人</p> <p>保 健 学 研 究 200人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 200人</p> <p>理 工 学 研 究 (うち修士課程) 77人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 50人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 27人</p> <p>農 学 研 究 (うち修士課程) 204人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 180人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 24人</p> <p>地 域 社 会 研 究 (うち修士課程) 120人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち修士課程) 120人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 18人</p> <p style="padding-left: 20px;">(うち博士課程) 18人</p>								
<p style="text-align: center;">変更理由</p> <p>①平成25年4月1日から医学部医学科の入学定員を2人増加し、平成27年度の収容定員が6人増となるため。</p> <p>②平成25年4月1日から教育学研究科の入学定員を10人削減し、平成27年度の収容定員が20人減となるため。</p> <p>③平成25年4月1日から理工学研究科の入学定員を10人増加し、平成27年度の収容定員が20人増となるため。</p>									



国立大学法人東北大学の中期計画 新旧対照表

現 行		変 更 案		変更理由
別表 (収容定員)	別表 (収容定員)			
文学部 840人 教育学部 280人 法学部 640人 経済学部 1,080人 理学部 1,296人 医学部 1,307人 歯学部 324人 薬学部 360人 工学部 3,240人 農学部 600人 文学研究科 313人 教育学研究科 140人 法学研究科 380人 経済学研究科 240人 理学研究科 914人 医学系研究科 767人 歯学研究科 185人 薬学研究科 178人 工学研究科 1,794人 農学研究科 329人 国際文化研究科 210人 情報科学研究科 406人 (うち医師養成に係る分野 699人) (うち歯科医師養成に係る分野 324人)	文学部 840人 教育学部 280人 法学部 640人 経済学部 1,080人 理学部 1,296人 医学部 1,317人 歯学部 324人 薬学部 360人 工学部 3,240人 農学部 600人 文学研究科 313人 教育学研究科 140人 法学研究科 380人 経済学研究科 240人 理学研究科 914人 医学系研究科 767人 歯学研究科 185人 薬学研究科 178人 工学研究科 1,794人 農学研究科 329人 国際文化研究科 210人 情報科学研究科 406人 (うち医師養成に係る分野 709人) (うち歯科医師養成に係る分野 324人)			入学定員増(10人増)に伴う収容定員の変更
平成25年度	平成25年度			
文学部 840人 教育学部 280人 法学部 640人 経済学部 1,080人 理学部 1,296人 医学部 1,307人 歯学部 324人 薬学部 360人 工学部 3,240人 農学部 600人 文学研究科 313人 教育学研究科 140人 法学研究科 380人 経済学研究科 240人 理学研究科 914人 医学系研究科 767人 歯学研究科 185人 薬学研究科 178人 工学研究科 1,794人 農学研究科 329人 国際文化研究科 210人 情報科学研究科 406人 (うち医師養成に係る分野 699人) (うち歯科医師養成に係る分野 324人)	文学部 840人 教育学部 280人 法学部 640人 経済学部 1,080人 理学部 1,296人 医学部 1,317人 歯学部 324人 薬学部 360人 工学部 3,240人 農学部 600人 文学研究科 313人 教育学研究科 140人 法学研究科 380人 経済学研究科 240人 理学研究科 914人 医学系研究科 767人 歯学研究科 185人 薬学研究科 178人 工学研究科 1,794人 農学研究科 329人 国際文化研究科 210人 情報科学研究科 406人 (うち医師養成に係る分野 709人) (うち歯科医師養成に係る分野 324人)	うち前期課程 178人 後期課程 135人 うち前期課程 86人 後期課程 54人 うち前期課程 20人 後期課程 60人 法科大学院課程 240人 専門職学位課程 60人 うち前期課程 100人 後期課程 60人 専門職学位課程 80人 うち前期課程 524人 後期課程 390人 うち前期課程 104人 後期課程 63人 修士課程 80人 博士課程 520人 うち修士課程 12人 博士課程 173人 うち前期課程 108人 後期課程 62人 博士課程 8人 うち前期課程 1,272人 後期課程 522人 うち前期課程 218人 後期課程 111人 うち前期課程 96人 後期課程 114人 うち前期課程 280人 後期課程 126人	うち前期課程 178人 後期課程 135人 うち前期課程 86人 後期課程 54人 うち前期課程 20人 後期課程 60人 法科大学院課程 240人 専門職学位課程 60人 うち前期課程 100人 後期課程 60人 専門職学位課程 80人 うち前期課程 524人 後期課程 390人 うち前期課程 104人 後期課程 63人 修士課程 80人 博士課程 520人 うち修士課程 12人 博士課程 173人 うち前期課程 108人 後期課程 62人 博士課程 8人 うち前期課程 1,272人 後期課程 522人 うち前期課程 218人 後期課程 111人 うち前期課程 96人 後期課程 114人 うち前期課程 280人 後期課程 126人	

国立大学法人東北大学の中期計画 新旧対照表

現 行		変 更 案		変更理由
生命科学研究所	212人 うち前期課程 212人 後期課程 141人	生命科学研究所	353人 うち前期課程 212人 後期課程 141人	
環境科学研究所	170人 うち前期課程 170人 後期課程 81人	環境科学研究所	251人 うち前期課程 170人 後期課程 81人	
医工学研究所	62人 うち前期課程 62人 後期課程 30人	医工学研究所	92人 うち前期課程 62人 後期課程 30人	
教育情報学教育部	24人 うち前期課程 24人 後期課程 15人	教育情報学教育部	39人 うち前期課程 24人 後期課程 15人	
文学部	840人	文学部	840人	
教育学部	280人	教育学部	280人	
法学部	640人	法学部	640人	
経済学部	1,080人	経済学部	1,080人	
理学部	1,296人	理学部	1,296人	
医学部	1,332人 (うち医師養成に係る分野 724人)	医学部	1,352人 (うち医師養成に係る分野 744人)	入学定員増(10人増)に伴う収容定員の変更
歯学部	322人 (うち歯科医師養成に係る分野 322人)	歯学部	322人 (うち歯科医師養成に係る分野 322人)	
薬学部	360人	薬学部	360人	
工学部	3,240人	工学部	3,240人	
農学部	600人	農学部	600人	
文学研究所	178人 うち前期課程 178人 後期課程 135人	文学研究所	313人 うち前期課程 178人 後期課程 135人	
教育学研究所	86人 うち前期課程 86人 後期課程 54人	教育学研究所	140人 うち前期課程 86人 後期課程 54人	
法学研究所	20人 うち前期課程 20人 後期課程 60人	法学研究所	380人 うち前期課程 20人 後期課程 60人	
経済学研究所	240人 うち前期課程 240人 後期課程 60人	経済学研究所	240人 うち前期課程 240人 後期課程 60人	
理学研究所	524人 うち前期課程 524人 後期課程 390人	理学研究所	914人 うち前期課程 524人 後期課程 390人	
医学系研究所	104人 うち前期課程 104人 後期課程 63人	医学系研究所	767人 うち前期課程 104人 後期課程 63人	
歯学研究所	80人 うち前期課程 80人 後期課程 520人	歯学研究所	180人 うち前期課程 80人 後期課程 520人	
薬学研究所	12人 うち前期課程 12人 後期課程 168人	薬学研究所	174人 うち前期課程 12人 後期課程 168人	
	108人 うち前期課程 108人 後期課程 54人		108人 うち前期課程 108人 後期課程 54人	
	12人 うち前期課程 12人 後期課程 12人		12人 うち前期課程 12人 後期課程 12人	
平成26年度		平成26年度		

国立大学法人東北大学の中期計画 新旧対照表

現 行		変 更 案		変更理由
工学研究科	1,794人	工学研究科	1,794人	
農学研究科	329人	農学研究科	329人	
国際文化研究科	210人	国際文化研究科	210人	
情報科学研究科	406人	情報科学研究科	406人	
生命科学研究科	353人	生命科学研究科	353人	
環境科学研究科	251人	環境科学研究科	251人	
医工学研究科	92人	医工学研究科	92人	
教育情報学教育部	39人	教育情報学教育部	39人	
工学研究科	1,272人	工学研究科	1,272人	
後期課程	522人	後期課程	522人	
うち前期課程	218人	うち前期課程	218人	
うち前期課程	111人	うち前期課程	111人	
うち前期課程	96人	うち前期課程	96人	
うち前期課程	114人	うち前期課程	114人	
うち前期課程	280人	うち前期課程	280人	
うち前期課程	126人	うち前期課程	126人	
うち前期課程	212人	うち前期課程	212人	
うち前期課程	141人	うち前期課程	141人	
うち前期課程	170人	うち前期課程	170人	
うち前期課程	81人	うち前期課程	81人	
うち前期課程	62人	うち前期課程	62人	
うち前期課程	30人	うち前期課程	30人	
うち前期課程	24人	うち前期課程	24人	
うち前期課程	15人	うち前期課程	15人	
文学部	840人	文学部	840人	
教育学部	280人	教育学部	280人	
法学部	640人	法学部	640人	
経済学部	1,080人	経済学部	1,080人	
理学部	1,296人	理学部	1,296人	
医学部	1,347人	医学部	1,377人	(うち医師養成に係る分野 739人)
歯学部	320人	歯学部	320人	(うち歯科医師養成に係る分野 320人)
薬学部	360人	薬学部	360人	
工学部	3,240人	工学部	3,240人	
農学部	600人	農学部	600人	
文学研究科	313人	文学研究科	313人	
後期課程	135人	後期課程	135人	
うち前期課程	86人	うち前期課程	86人	
うち前期課程	54人	うち前期課程	54人	
うち前期課程	20人	うち前期課程	20人	
うち前期課程	60人	うち前期課程	60人	
法科大学院課程	240人	法科大学院課程	240人	
専門職学位課程	60人	専門職学位課程	60人	
うち前期課程	100人	うち前期課程	100人	
後期課程	60人	後期課程	60人	
専門職学位課程	80人	専門職学位課程	80人	
うち前期課程	524人	うち前期課程	524人	
後期課程	390人	後期課程	390人	
うち前期課程	104人	うち前期課程	104人	
文学研究科	178人	文学研究科	178人	
教育学研究科	140人	教育学研究科	140人	
法学研究科	380人	法学研究科	380人	
経済学研究科	240人	経済学研究科	240人	
理学研究科	914人	理学研究科	914人	
医学系研究科	767人	医学系研究科	767人	
文学研究科	178人	文学研究科	178人	
後期課程	135人	後期課程	135人	
うち前期課程	86人	うち前期課程	86人	
うち前期課程	54人	うち前期課程	54人	
うち前期課程	20人	うち前期課程	20人	
うち前期課程	60人	うち前期課程	60人	
法科大学院課程	240人	法科大学院課程	240人	
専門職学位課程	60人	専門職学位課程	60人	
うち前期課程	100人	うち前期課程	100人	
後期課程	60人	後期課程	60人	
専門職学位課程	80人	専門職学位課程	80人	
うち前期課程	524人	うち前期課程	524人	
後期課程	390人	後期課程	390人	
うち前期課程	104人	うち前期課程	104人	

入学定員増(10人増)に伴う収容定員の変更

国立大学法人東北大学の中期計画 新旧対照表

現 行		変 更 案		変更理由
	63人 後期課程		63人 後期課程	
	80人 修士課程		80人 修士課程	
	520人 博士課程		520人 博士課程	
歯学研究科	180人 うち修士課程	180人 うち修士課程	180人 うち修士課程	
薬学研究科	178人 うち前期課程	178人 うち前期課程	178人 うち前期課程	
	54人 後期課程		54人 後期課程	
	16人 博士課程		16人 博士課程	
工学研究科	1,794人 うち前期課程	1,794人 うち前期課程	1,794人 うち前期課程	
	522人 後期課程		522人 後期課程	
農学研究科	218人 うち前期課程	329人 うち前期課程	218人 うち前期課程	
	111人 後期課程		111人 後期課程	
国際文化研究科	96人 うち前期課程	210人 うち前期課程	96人 うち前期課程	
	114人 後期課程		114人 後期課程	
情報科学研究科	280人 うち前期課程	406人 うち前期課程	280人 うち前期課程	
	126人 後期課程		126人 後期課程	
生命科学研究科	212人 うち前期課程	353人 うち前期課程	212人 うち前期課程	
	141人 後期課程		141人 後期課程	
環境科学研究科	170人 うち前期課程	251人 うち前期課程	170人 うち前期課程	
	81人 後期課程		81人 後期課程	
医工学研究科	62人 うち前期課程	92人 うち前期課程	62人 うち前期課程	
	30人 後期課程		30人 後期課程	
教育情報学教育部	24人 うち前期課程	39人 うち前期課程	24人 うち前期課程	
	15人 後期課程		15人 後期課程	

# 国立大学法人筑波大学の中期計画新旧対照表

現 行		変 更 案		変更理由
中期計画 別表 (収容定員)		中期計画 別表 (収容定員)		入学定員改定のため
<p>人文・文化学群 社会・国際学群 人間学群 生命環境学群 理工学群 情報学群 医学群 体育専門学群 芸術専門学群</p> <p style="text-align: right;">960人 660人 480人 1,020人 2,100人 980人 1,110人(うち医師養成に係る分野656人) 960人 400人</p>	<p>人文・文化学群 社会・国際学群 人間学群 生命環境学群 理工学群 情報学群 医学群 体育専門学群 芸術専門学群</p> <p style="text-align: right;">960人 660人 480人 1,020人 2,100人 980人 1,112人(うち医師養成に係る分野658人) 960人 400人</p>	<p>人文社会科学研究所 ビジネス科学研究科 数理物質科学研究科 システム情報工学研究所 生命環境科学研究科 人間総合科学研究科 図書館情報メディア研究科 教育研究科</p> <p style="text-align: right;">473人 357人 813人 1,172人 1,075人 1,410人 137人 249人(修士課程)</p>	<p>人文社会科学研究所 ビジネス科学研究科 数理物質科学研究科 システム情報工学研究所 生命環境科学研究科 人間総合科学研究科 図書館情報メディア研究科 教育研究科</p> <p style="text-align: right;">473人 357人 813人 1,172人 1,075人 1,435人 137人 224人(修士課程)</p>	
平成25年度	平成25年度			

# 国立大学法人筑波大学の中期計画新旧対照表

現 行		変 更 案		変更理由
中期計画 別表 (収容定員)		中期計画 別表 (収容定員)		入学定員改定のため
人文・文化学群 社会・国際学群 人間学群 生命環境学群 理工学群 情報学群 医学群 体育専門学群 芸術専門学群	960人 660人 480人 1,020人 2,100人 980人 1,125人(うち医師養成に係る分野671人) 960人 400人	人文・文化学群 社会・国際学群 人間学群 生命環境学群 理工学群 情報学群 医学群 体育専門学群 芸術専門学群	960人 660人 480人 1,020人 2,100人 980人 1,129人(うち医師養成に係る分野675人) 960人 400人	
平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	
人文社会科学研究所 ビジネス科学研究科 数理解物質科学研究科 システム情報工学研究所 生命環境科学研究科 人間総合科学研究科 図書館情報メディア研究科 教育研究所	473人 357人 813人 1,172人 1,075人 4,410人 137人 249人(修士課程)	人文社会科学研究所 ビジネス科学研究科 数理解物質科学研究科 システム情報工学研究所 生命環境科学研究科 人間総合科学研究科 図書館情報メディア研究科 教育研究所	473人 357人 813人 1,172人 1,075人 1,460人 137人 199人(修士課程)	

# 国立大学法人筑波大学の中期計画新旧対照表

現 行		変 更 案		変更理由
中期計画 別表 (収容定員)		中期計画 別表 (収容定員)		入学定員改定のため
人文・文化学群 社会・国際学群 人間学群 生命環境学群 理工学群 情報学群 医学群 体育専門学群 芸術専門学群	960人 660人 480人 1,020人 2,100人 980人 1,132人(うち医師養成に係る分野678人) 960人 400人	人文・文化学群 社会・国際学群 人間学群 生命環境学群 理工学群 情報学群 医学群 体育専門学群 芸術専門学群	960人 660人 480人 1,020人 2,100人 980人 1,138人(うち医師養成に係る分野684人) 960人 400人	
平成27年度	平成27年度	平成27年度	平成27年度	
人文社会科学研究所 ビジネス科学研究科 数理解物質科学研究科 システム情報工学研究所 生命環境科学研究科 人間総合科学研究科 図書館情報メディア研究科 教育研究科	473人 357人 813人 1,172人 1,075人 1,410人 137人 249人(修士課程)	人文社会科学研究所 ビジネス科学研究科 数理解物質科学研究科 システム情報工学研究所 生命環境科学研究科 人間総合科学研究科 図書館情報メディア研究科 教育研究科	473人 357人 813人 1,172人 1,075人 1,460人 137人 199人(修士課程)	



# 国立大学法人群馬大学の中期目標新旧対照表

現 行	変 更 案	変 更 理 由								
<p><b>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</b>  <b>2 研究に関する目標</b>  <b>(2) 研究実施体制等の整備に関する目標</b>                  研究の発展を促進するため、また、大学として重点的に取り組む領域や学部(研究科)・学科(専攻)の枠を越えた複合領域の研究を推進するために、学長のリーダーシップに基づいて研究者等を適切に配置し、施設及び設備などの研究環境を整備する。さらに、国際的競争力を持つ先進的研究拠点の活動を担う人材を育成する。</p> <p>別表 1 (学部、研究科等)</p> <table border="1" data-bbox="647 1337 1225 2011"> <tr> <td>学</td> <td>教育学部 社会情報学部 医学部 <u>工学部</u></td> </tr> <tr> <td>研 究 科</td> <td>教育学研究科 社会情報学研究科 医学系研究科 保健学研究科 <u>工学研究科</u></td> </tr> </table>	学	教育学部 社会情報学部 医学部 <u>工学部</u>	研 究 科	教育学研究科 社会情報学研究科 医学系研究科 保健学研究科 <u>工学研究科</u>	<p><b>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</b>  <b>2 研究に関する目標</b>  <b>(2) 研究実施体制等の整備に関する目標</b>                  研究の発展を促進するため、また、大学として重点的に取り組む領域や学部(研究科)・学科(専攻)の枠を越えた複合領域の研究を推進するために、学長のリーダーシップに基づいて研究者等を適切に配置し、施設及び設備などの研究環境を整備する。さらに、国際的競争力を持つ先進的研究拠点の活動を担う人材を育成する。</p> <p>別表 1 (学部、研究科等)</p> <table border="1" data-bbox="647 568 1289 1243"> <tr> <td>学</td> <td>教育学部 社会情報学部 医学部 <u>理工学部</u></td> </tr> <tr> <td>研 究 科</td> <td>教育学研究科 社会情報学研究科 医学系研究科 保健学研究科 <u>理工学部</u></td> </tr> </table>	学	教育学部 社会情報学部 医学部 <u>理工学部</u>	研 究 科	教育学研究科 社会情報学研究科 医学系研究科 保健学研究科 <u>理工学部</u>	<p>工学部・大学院工学研究科の廃止及び理工学部・大学院理工学府の設置に伴う変更</p>
学	教育学部 社会情報学部 医学部 <u>工学部</u>									
研 究 科	教育学研究科 社会情報学研究科 医学系研究科 保健学研究科 <u>工学研究科</u>									
学	教育学部 社会情報学部 医学部 <u>理工学部</u>									
研 究 科	教育学研究科 社会情報学研究科 医学系研究科 保健学研究科 <u>理工学部</u>									



## 国立大学法人群馬大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更 案	変 更 理 由																																																																		
<p><b>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p><b>1 教育に関する目標を達成するための措置</b></p> <p><b>(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>(ii) 大学院課程</p> <p>① 研究科の理念・目標に基づく明確なアドミッション・ポリシーを広く周知するとともに、社会人等の多様な学習歴を持つ受験生の資質・能力を適切に評価して入学者を選抜する。</p> <p>別表 (収容定員)</p> <table border="1" data-bbox="603 1339 1460 2011"> <tr> <td>教育学部</td> <td>880人</td> </tr> <tr> <td>社会情報学部</td> <td>440人</td> </tr> <tr> <td>医学部</td> <td>1,341人</td> </tr> <tr> <td>工学部</td> <td><u>2,100人</u></td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教育学研究科</td> <td>78人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[うち修士課程46人]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[専門職学位課程32人]</td> </tr> <tr> <td>社会情報学研究科</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[うち修士課程28人]</td> </tr> <tr> <td>医学系研究科</td> <td>258人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[うち修士課程30人]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[博士課程228人]</td> </tr> <tr> <td>保健学研究科</td> <td>130人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[うち修士課程100人]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[博士課程30人]</td> </tr> </table>	教育学部	880人	社会情報学部	440人	医学部	1,341人	工学部	<u>2,100人</u>	25年度		教育学研究科	78人		[うち修士課程46人]		[専門職学位課程32人]	社会情報学研究科	28人		[うち修士課程28人]	医学系研究科	258人		[うち修士課程30人]		[博士課程228人]	保健学研究科	130人		[うち修士課程100人]		[博士課程30人]	<p><b>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p><b>1 教育に関する目標を達成するための措置</b></p> <p><b>(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>(ii) 大学院課程</p> <p>① 研究科及び学府の理念・目標に基づく明確なアドミッション・ポリシーを広く周知するとともに、社会人等の多様な学習歴を持つ受験生の資質・能力を適切に評価して入学者を選抜する。</p> <p>別表 (収容定員)</p> <table border="1" data-bbox="603 573 1460 1245"> <tr> <td>教育学部</td> <td>880人</td> </tr> <tr> <td>社会情報学部</td> <td>440人</td> </tr> <tr> <td>医学部</td> <td>1,341人</td> </tr> <tr> <td>工学部</td> <td><u>1,590人</u></td> </tr> <tr> <td>理工学部</td> <td><u>510人</u></td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教育学研究科</td> <td>78人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[うち修士課程46人]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[専門職学位課程32人]</td> </tr> <tr> <td>社会情報学研究科</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[うち修士課程28人]</td> </tr> <tr> <td>医学系研究科</td> <td>258人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[うち修士課程30人]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[博士課程228人]</td> </tr> <tr> <td>保健学研究科</td> <td>130人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[うち修士課程100人]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[博士課程30人]</td> </tr> </table>	教育学部	880人	社会情報学部	440人	医学部	1,341人	工学部	<u>1,590人</u>	理工学部	<u>510人</u>	25年度		教育学研究科	78人		[うち修士課程46人]		[専門職学位課程32人]	社会情報学研究科	28人		[うち修士課程28人]	医学系研究科	258人		[うち修士課程30人]		[博士課程228人]	保健学研究科	130人		[うち修士課程100人]		[博士課程30人]	<p>工学部・大学院工学研究科の廃止及び理工学部・大学院理工学府の設置に伴う変更</p>
教育学部	880人																																																																			
社会情報学部	440人																																																																			
医学部	1,341人																																																																			
工学部	<u>2,100人</u>																																																																			
25年度																																																																				
教育学研究科	78人																																																																			
	[うち修士課程46人]																																																																			
	[専門職学位課程32人]																																																																			
社会情報学研究科	28人																																																																			
	[うち修士課程28人]																																																																			
医学系研究科	258人																																																																			
	[うち修士課程30人]																																																																			
	[博士課程228人]																																																																			
保健学研究科	130人																																																																			
	[うち修士課程100人]																																																																			
	[博士課程30人]																																																																			
教育学部	880人																																																																			
社会情報学部	440人																																																																			
医学部	1,341人																																																																			
工学部	<u>1,590人</u>																																																																			
理工学部	<u>510人</u>																																																																			
25年度																																																																				
教育学研究科	78人																																																																			
	[うち修士課程46人]																																																																			
	[専門職学位課程32人]																																																																			
社会情報学研究科	28人																																																																			
	[うち修士課程28人]																																																																			
医学系研究科	258人																																																																			
	[うち修士課程30人]																																																																			
	[博士課程228人]																																																																			
保健学研究科	130人																																																																			
	[うち修士課程100人]																																																																			
	[博士課程30人]																																																																			

工学研究科	717人 〔うち修士課程600人〕 博士課程117人〕
教育学部	880人
社会情報学部	440人
医学部	1,364人 〔うち医師養成に係る分野704人〕
工学部	2,100人
平成26年	
教育学研究科	78人 〔うち修士課程46人〕 専門職学位課程32人〕
社会情報学研究科	28人 〔うち修士課程28人〕
医学系研究科	258人 〔うち修士課程30人〕 博士課程228人〕
保健学研究科	130人 〔うち修士課程100人〕 博士課程30人〕
工学研究科	717人 〔うち修士課程600人〕 博士課程117人〕

工学研究科	378人 〔うち修士課程300人〕 博士課程78人〕
理工学府	339人 〔うち修士課程300人〕 博士課程39人〕
教育学部	880人
社会情報学部	440人
医学部	1,364人 〔うち医師養成に係る分野704人〕
工学部	1,080人
理工学部	1,020人
平成26年	
教育学研究科	78人 〔うち修士課程46人〕 専門職学位課程32人〕
社会情報学研究科	28人 〔うち修士課程28人〕
医学系研究科	258人 〔うち修士課程30人〕 博士課程228人〕
保健学研究科	130人 〔うち修士課程100人〕 博士課程30人〕
工学研究科	39人 〔うち博士課程39人〕
理工学府	678人 〔うち修士課程600人〕 博士課程78人〕

教育学部	880人
社会情報学部	440人
医学部	1,377人 〔うち医師養成に係る分野717人〕
工学部	<u>540人</u>
理工学部	<u>1,560人</u>
平成27年度	
教育学研究科	78人 〔うち修士課程46人〕 〔うち専門職学位課程32人〕
社会情報学研究科	28人 〔うち修士課程28人〕
医学系研究科	258人 〔うち修士課程30人〕 〔うち博士課程228人〕
保健学研究科	130人 〔うち修士課程100人〕 〔うち博士課程30人〕
理工学府	<u>717人</u> 〔うち修士課程600人〕 〔うち博士課程117人〕
平成27年度	
教育学部	880人
社会情報学部	440人
医学部	1,377人 〔うち医師養成に係る分野717人〕
工学部	<u>2,100人</u>
工学研究科	<u>717人</u> 〔うち修士課程600人〕 〔うち博士課程117人〕
教育学研究科	78人 〔うち修士課程46人〕 〔うち専門職学位課程32人〕
社会情報学研究科	28人 〔うち修士課程28人〕
医学系研究科	258人 〔うち修士課程30人〕 〔うち博士課程228人〕
保健学研究科	130人 〔うち修士課程100人〕 〔うち博士課程30人〕
工学研究科	<u>717人</u> 〔うち修士課程600人〕 〔うち博士課程117人〕



国立大学法人千葉大学の中期計画新旧対照表(案)

現行		変更案		変更理由
別表(収容定員)	<p>740人 1,820人 1,680人 840人 675人 400人 340人 2,740人 800人</p> <p>文学部 教育学部 (うち教員養成に係る分野) 法経学部 理学部 医学部 (うち医師養成に係る分野) 薬学部 看護学部 工学部 園芸学部</p>	別表(収容定員)	<p>740人 1,820人 1,680人 840人 677人 400人 340人 2,740人 800人</p> <p>文学部 教育学部 (うち教員養成に係る分野) 法経学部 理学部 医学部 (うち医師養成に係る分野) 薬学部 看護学部 工学部 園芸学部</p>	平成25年度医学部医学科の入学定員の改訂(2名増)のため
別表(収容定員)	<p>158人 158人 309人 234人 75人 119人 50人 33人 36人 798人 672人 126人 264人 210人 54人 174人 120人 54人 313人 250人 63人 629人 154人 432人 43人 120人 120人</p> <p>教育学研究科 (うち修士課程) 理学研究科 (うち博士前期課程 博士後期課程) 看護学研究科 (うち博士前期課程 修士課程) 工学研究科 (うち博士前期課程 博士後期課程) 園芸研究科 (うち博士前期課程 博士後期課程) 人文社会科学研究科 (うち博士前期課程 博士後期課程) 融合科学研究科 (うち博士前期課程 博士後期課程) 医学薬学府 (うち修士課程 4年博士課程 後期3年博士課程) 専門法務研究科 (うち専門職学位課程)</p>	別表(収容定員)	<p>158人 158人 309人 234人 75人 119人 50人 33人 36人 798人 672人 126人 264人 210人 54人 174人 120人 54人 313人 250人 63人 629人 154人 432人 43人 120人 120人</p> <p>教育学研究科 (うち修士課程) 理学研究科 (うち博士前期課程 博士後期課程) 看護学研究科 (うち博士前期課程 修士課程) 工学研究科 (うち博士前期課程 博士後期課程) 園芸研究科 (うち博士前期課程 博士後期課程) 人文社会科学研究科 (うち博士前期課程 博士後期課程) 融合科学研究科 (うち博士前期課程 博士後期課程) 医学薬学府 (うち修士課程 4年博士課程 後期3年博士課程) 専門法務研究科 (うち専門職学位課程)</p>	
平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	

<p>平成26年度</p> <p>文学部 740人 教育学部 1,820人 (うち教員養成に係る分野 1,680人) 法経学部 1,480人 理学部 840人 医学部 695人 (うち医師養成に係る分野 695人) 薬学部 400人 看護学部 340人 工学部 2,740人 園芸学部 800人</p>	<p>教育学研究科 158人 (うち修士課程 158人) 理学研究科 309人 〔うち博士前期課程 234人〕 博士後期課程 75人〕 看護学研究科 122人 〔うち博士前期課程 50人〕 修士課程 36人〕 博士後期課程 36人〕 工学研究科 798人 〔うち博士前期課程 672人〕 博士後期課程 126人〕 園芸研究科 264人 〔うち博士前期課程 210人〕 博士後期課程 54人〕 人文社会科学学研究科 174人 〔うち博士前期課程 120人〕 博士後期課程 54人〕 融合科学研究科 313人 〔うち博士前期課程 250人〕 博士後期課程 63人〕 医学薬学府 631人 〔うち修士課程 154人〕 4年博士課程 432人 後期3年博士課程 45人〕 専門法務研究科 120人 (うち専門職学位課程 120人)</p>
<p>平成26年度</p> <p>文学部 740人 教育学部 1,820人 (うち教員養成に係る分野 1,680人) 法経学部 1,480人 理学部 840人 医学部 699人 (うち医師養成に係る分野 699人) 薬学部 400人 看護学部 340人 工学部 2,740人 園芸学部 800人</p>	<p>教育学研究科 158人 (うち修士課程 158人) 理学研究科 309人 〔うち博士前期課程 234人〕 博士後期課程 75人〕 看護学研究科 122人 〔うち博士前期課程 50人〕 修士課程 36人〕 博士後期課程 36人〕 工学研究科 798人 〔うち博士前期課程 672人〕 博士後期課程 126人〕 園芸研究科 264人 〔うち博士前期課程 210人〕 博士後期課程 54人〕 人文社会科学学研究科 174人 〔うち博士前期課程 120人〕 博士後期課程 54人〕 融合科学研究科 313人 〔うち博士前期課程 250人〕 博士後期課程 63人〕 医学薬学府 631人 〔うち修士課程 154人〕 4年博士課程 432人 後期3年博士課程 45人〕 専門法務研究科 120人 (うち専門職学位課程 120人)</p>

平成25年度医学部医学科  
の入学定員の改訂(2名  
増)のため

<p>平成27年度</p> <p>文学部 740人 教育学部 1,820人 (うち教員養成に係る分野 1,680人) 法経学部 1,480人 理学部 840人 医学部 705人 (うち医師養成に係る分野 705人) 薬学部 400人 看護学部 340人 工学部 2,740人 園芸学部 800人</p>	<p>教育学研究科 158人 (うち修士課程 158人) 理学研究科 309人 〔うち博士前期課程 234人〕 博士後期課程 75人〕 看護学研究科 122人 〔うち博士前期課程 50人〕 博士後期課程 36人〕 工学研究科 36人〕 博士後期課程 798人 〔うち博士前期課程 672人〕 博士後期課程 126人〕 園芸研究科 264人 〔うち博士前期課程 210人〕 博士後期課程 54人〕 人文社会科学研究科 174人 〔うち博士前期課程 120人〕 博士後期課程 54人〕 融合科学研究科 313人 〔うち博士前期課程 250人〕 博士後期課程 63人〕 医学薬学府 631人 〔うち修士課程 154人〕 4年博士課程 432人 後期3年博士課程 45人〕 専門法務研究科 120人 (うち専門職学位課程 120人)</p>
<p>平成27年度</p> <p>文学部 740人 教育学部 1,820人 (うち教員養成に係る分野 1,680人) 法経学部 1,480人 理学部 840人 医学部 711人 (うち医師養成に係る分野 711人) 薬学部 400人 看護学部 340人 工学部 2,740人 園芸学部 800人</p>	<p>教育学研究科 158人 (うち修士課程 158人) 理学研究科 309人 〔うち博士前期課程 234人〕 博士後期課程 75人〕 看護学研究科 122人 〔うち博士前期課程 50人〕 博士後期課程 36人〕 工学研究科 36人〕 博士後期課程 798人 〔うち博士前期課程 672人〕 博士後期課程 126人〕 園芸研究科 264人 〔うち博士前期課程 210人〕 博士後期課程 54人〕 人文社会科学研究科 174人 〔うち博士前期課程 120人〕 博士後期課程 54人〕 融合科学研究科 313人 〔うち博士前期課程 250人〕 博士後期課程 63人〕 医学薬学府 631人 〔うち修士課程 154人〕 4年博士課程 432人 後期3年博士課程 45人〕 専門法務研究科 120人 (うち専門職学位課程 120人)</p>

平成25年度医学部医学科  
の入学定員の改訂(2名  
増)のため



## 国立大学法人東京医科歯科大学の中期計画 新旧対照表

現 行		変 更 案		変更理由
別表 (収容定員)	別表 (収容定員)	別表 (収容定員)	別表 (収容定員)	地域の医師確保等の観点から、医学部医学科の入学定員を増やすため、医学部の収容定員を変更する。
平成25年度	平成25年度	平成25年度	平成25年度	
医学部 940人 (うち医師養成に係る分野580人)	医学部 941人 (うち医師養成に係る分野581人)	医学部 941人 (うち医師養成に係る分野581人)	医学部 941人 (うち医師養成に係る分野581人)	
歯学部 479人 (うち歯科医師養成に係る分野334人)	歯学部 479人 (うち歯科医師養成に係る分野334人)	歯学部 479人 (うち歯科医師養成に係る分野334人)	歯学部 479人 (うち歯科医師養成に係る分野334人)	
医歯学総合研究科 1071人 (うち修士課程215人 博士課程856人)	医歯学総合研究科 1071人 (うち修士課程215人 博士課程856人)	医歯学総合研究科 1071人 (うち修士課程215人 博士課程856人)	医歯学総合研究科 1071人 (うち修士課程215人 博士課程856人)	
保健衛生学研究科 100人 (うち修士課程58人 博士課程42人)	保健衛生学研究科 100人 (うち修士課程58人 博士課程42人)	保健衛生学研究科 100人 (うち修士課程58人 博士課程42人)	保健衛生学研究科 100人 (うち修士課程58人 博士課程42人)	
生命情報科学教育部 15人 (うち修士課程0人 博士課程15人)	生命情報科学教育部 15人 (うち修士課程0人 博士課程15人)	生命情報科学教育部 15人 (うち修士課程0人 博士課程15人)	生命情報科学教育部 15人 (うち修士課程0人 博士課程15人)	
平成26年度	平成26年度	平成26年度	平成26年度	
医学部 965人 (うち医師養成に係る分野605人)	医学部 967人 (うち医師養成に係る分野607人)	医学部 967人 (うち医師養成に係る分野607人)	医学部 967人 (うち医師養成に係る分野607人)	
歯学部 477人 (うち歯科医師養成に係る分野322人)	歯学部 477人 (うち歯科医師養成に係る分野322人)	歯学部 477人 (うち歯科医師養成に係る分野322人)	歯学部 477人 (うち歯科医師養成に係る分野322人)	
医歯学総合研究科 1071人 (うち修士課程215人 博士課程856人)	医歯学総合研究科 1071人 (うち修士課程215人 博士課程856人)	医歯学総合研究科 1071人 (うち修士課程215人 博士課程856人)	医歯学総合研究科 1071人 (うち修士課程215人 博士課程856人)	
保健衛生学研究科 100人 (うち修士課程58人 博士課程42人)	保健衛生学研究科 100人 (うち修士課程58人 博士課程42人)	保健衛生学研究科 100人 (うち修士課程58人 博士課程42人)	保健衛生学研究科 100人 (うち修士課程58人 博士課程42人)	

平成27年度	医学部 980人 (うち医師養成に係る分野 620人) 歯学部 475人 (うち歯科医師養成に係る分野 320人)
	医歯学総合研究科 1046人 (うち修士課程 215人 博士課程 831人)
	保健衛生学研究科 100人 (うち修士課程 58人 博士課程 42人)

平成27年度	医学部 983人 (うち医師養成に係る分野 623人) 歯学部 475人 (うち歯科医師養成に係る分野 320人)
	医歯学総合研究科 1046人 (うち修士課程 215人 博士課程 831人)
	保健衛生学研究科 100人 (うち修士課程 58人 博士課程 42人)

国立大学法人横浜国立大学の中期目標新旧対照表

現行	変更案	変更理由								
<p><b>別表 1 (学部, 研究科 (学府含む))</b></p> <table border="1" data-bbox="422 1534 981 1993"> <tr> <td data-bbox="422 1937 614 1993">学部</td> <td data-bbox="422 1534 614 1937">                     教育人間科学部                      経済学部                      経営学部                      理工学部                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="614 1937 981 1993">研究科 (学府含む)</td> <td data-bbox="614 1534 981 1937">                     教育学研究科                      国際社会科学研究科                      工学府                      環境情報学府                      都市イノベーション学府                      東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 (参加校)                 </td> </tr> </table>	学部	教育人間科学部 経済学部 経営学部 理工学部	研究科 (学府含む)	教育学研究科 国際社会科学研究科 工学府 環境情報学府 都市イノベーション学府 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 (参加校)	<p><b>別表 1 (学部, 研究科 (学府含む))</b></p> <table border="1" data-bbox="422 772 981 1232"> <tr> <td data-bbox="422 1187 614 1232">学部</td> <td data-bbox="422 772 614 1187">                     教育人間科学部                      経済学部                      経営学部                      理工学部                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="614 1187 981 1232">研究科 (学府含む)</td> <td data-bbox="614 772 981 1187">                     教育学研究科                      国際社会科学府                      工学府                      環境情報学府                      都市イノベーション学府                      東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 (参加校)                 </td> </tr> </table>	学部	教育人間科学部 経済学部 経営学部 理工学部	研究科 (学府含む)	教育学研究科 国際社会科学府 工学府 環境情報学府 都市イノベーション学府 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 (参加校)	<p>平成 25 年 4 月 1 日付けで国際社会科学府が改組し、国際社会科学府が設置されることによる変更</p>
学部	教育人間科学部 経済学部 経営学部 理工学部									
研究科 (学府含む)	教育学研究科 国際社会科学研究科 工学府 環境情報学府 都市イノベーション学府 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 (参加校)									
学部	教育人間科学部 経済学部 経営学部 理工学部									
研究科 (学府含む)	教育学研究科 国際社会科学府 工学府 環境情報学府 都市イノベーション学府 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科 (参加校)									



## 国立大学法人横浜国立大学の中期計画新旧対照表

現行	変更案	変更理由																				
<p>平成 25 年度</p> <p>別表(収容定員)</p> <table border="1" data-bbox="343 1332 1407 1993"> <tr> <td>教育人間科学部 1,600 人 (うち教員養成に係る分野 920 人)</td> <td>経済学部 950 人</td> <td>経営学部 1,228 人</td> <td>理工学部 2,235 人</td> <td>工学部 665 人</td> </tr> <tr> <td>教育学研究科 200 人 (うち修士課程 200 人)</td> <td>国際社会科学府 441 人 (うち博士課程(前期) 216 人 博士課程(後期) 105 人 専門職学位課程 120 人)</td> <td>工学府 767 人 (うち博士課程(前期) 644 人 博士課程(後期) 123 人)</td> <td>環境情報学府 490 人 (うち博士課程(前期) 346 人 博士課程(後期) 144 人)</td> <td>都市イノベーション学府 246 人 (うち博士課程(前期) 210 人 博士課程(後期) 36 人)</td> </tr> </table>	教育人間科学部 1,600 人 (うち教員養成に係る分野 920 人)	経済学部 950 人	経営学部 1,228 人	理工学部 2,235 人	工学部 665 人	教育学研究科 200 人 (うち修士課程 200 人)	国際社会科学府 441 人 (うち博士課程(前期) 216 人 博士課程(後期) 105 人 専門職学位課程 120 人)	工学府 767 人 (うち博士課程(前期) 644 人 博士課程(後期) 123 人)	環境情報学府 490 人 (うち博士課程(前期) 346 人 博士課程(後期) 144 人)	都市イノベーション学府 246 人 (うち博士課程(前期) 210 人 博士課程(後期) 36 人)	<p>平成 25 年度</p> <p>別表(収容定員)</p> <table border="1" data-bbox="343 560 1407 1243"> <tr> <td>教育人間科学部 1,600 人 (うち教員養成に係る分野 920 人)</td> <td>経済学部 950 人</td> <td>経営学部 1,228 人</td> <td>理工学部 2,235 人</td> <td>工学部 665 人</td> </tr> <tr> <td>教育学研究科 200 人 (うち修士課程 200 人)</td> <td>国際社会科学府 183 人 (うち博士課程(前期) 113 人 博士課程(後期) 30 人 専門職学位課程 40 人)</td> <td>国際社会科学府 258 人 (うち博士課程(前期) 108 人 博士課程(後期) 70 人 専門職学位課程 80 人)</td> <td>工学府 767 人 (うち博士課程(前期) 644 人 博士課程(後期) 123 人)</td> <td>環境情報学府 490 人 (うち博士課程(前期) 346 人 博士課程(後期) 144 人)</td> </tr> </table>	教育人間科学部 1,600 人 (うち教員養成に係る分野 920 人)	経済学部 950 人	経営学部 1,228 人	理工学部 2,235 人	工学部 665 人	教育学研究科 200 人 (うち修士課程 200 人)	国際社会科学府 183 人 (うち博士課程(前期) 113 人 博士課程(後期) 30 人 専門職学位課程 40 人)	国際社会科学府 258 人 (うち博士課程(前期) 108 人 博士課程(後期) 70 人 専門職学位課程 80 人)	工学府 767 人 (うち博士課程(前期) 644 人 博士課程(後期) 123 人)	環境情報学府 490 人 (うち博士課程(前期) 346 人 博士課程(後期) 144 人)	<p>平成 25 年度</p> <p>○国際社会科学府の設置による変更(国際社会科学府研究科の改組による)</p>
教育人間科学部 1,600 人 (うち教員養成に係る分野 920 人)	経済学部 950 人	経営学部 1,228 人	理工学部 2,235 人	工学部 665 人																		
教育学研究科 200 人 (うち修士課程 200 人)	国際社会科学府 441 人 (うち博士課程(前期) 216 人 博士課程(後期) 105 人 専門職学位課程 120 人)	工学府 767 人 (うち博士課程(前期) 644 人 博士課程(後期) 123 人)	環境情報学府 490 人 (うち博士課程(前期) 346 人 博士課程(後期) 144 人)	都市イノベーション学府 246 人 (うち博士課程(前期) 210 人 博士課程(後期) 36 人)																		
教育人間科学部 1,600 人 (うち教員養成に係る分野 920 人)	経済学部 950 人	経営学部 1,228 人	理工学部 2,235 人	工学部 665 人																		
教育学研究科 200 人 (うち修士課程 200 人)	国際社会科学府 183 人 (うち博士課程(前期) 113 人 博士課程(後期) 30 人 専門職学位課程 40 人)	国際社会科学府 258 人 (うち博士課程(前期) 108 人 博士課程(後期) 70 人 専門職学位課程 80 人)	工学府 767 人 (うち博士課程(前期) 644 人 博士課程(後期) 123 人)	環境情報学府 490 人 (うち博士課程(前期) 346 人 博士課程(後期) 144 人)																		

平成26年度	<p>教育人間科学部 1,520人 （うち教員養成に係る分野 920人） 経済学部 950人 経営学部 1,228人 理工学部 2,980人</p> <p>教育学研究科 200人 （うち修士課程 200人） 国際社会科学府 441人 （うち博士課程(前期) 216人 博士課程(後期) 105人 専門職学位課程 120人）</p> <p>工学府 767人 （うち博士課程(前期) 644人 博士課程(後期) 123人） 環境情報学府 490人 （うち博士課程(前期) 346人 博士課程(後期) 144人） 都市イノベーション学府 246人 （うち博士課程(前期) 210人 博士課程(後期) 36人）</p>	平成26年度	<p>都市イノベーション学府 246人 （うち博士課程(前期) 210人 博士課程(後期) 36人）</p> <p>教育人間科学部 1,520人 （うち教員養成に係る分野 920人） 経済学部 950人 経営学部 1,228人 理工学部 2,980人</p> <p>教育学研究科 200人 （うち修士課程 200人） 国際社会科学府 366人 （うち博士課程(前期) 226人 博士課程(後期) 60人 専門職学位課程 80人）</p> <p>国際社会科学府研究科 75人 （うち博士課程(後期) 35人 専門職学位課程 40人）</p> <p>工学府 767人 （うち博士課程(前期) 644人 博士課程(後期) 123人） 環境情報学府 490人 （うち博士課程(前期) 346人 博士課程(後期) 144人） 都市イノベーション学府 246人 （うち博士課程(前期) 210人 博士課程(後期) 36人）</p>		

平成 27 年度	<p>教育人間科学部 1,520 人 (うち教員養成に係る分野 920 人)</p> <p>経済学部 950 人 経営学部 1,228 人 理工学部 2,980 人</p> <p>教育学研究科 200 人 (うち修士課程 200 人)</p> <p><u>国際社会科学府 441 人</u> <u>(うち博士課程(前期) 216 人)</u> <u>博士課程(後期) 105 人</u> <u>専門職学位課程 120 人)</u></p> <p>工学府 767 人 (うち博士課程(前期) 644 人) 博士課程(後期) 123 人)</p> <p>環境情報学府 490 人 (うち博士課程(前期) 346 人) 博士課程(後期) 144 人)</p> <p>都市イノベーション学府 246 人 (うち博士課程(前期) 210 人) 博士課程(後期) 36 人)</p>	平成 27 年度	<p>教育人間科学部 1,520 人 (うち教員養成に係る分野 920 人)</p> <p>経済学部 950 人 経営学部 1,228 人 理工学部 2,980 人</p> <p>教育学研究科 200 人 (うち修士課程 200 人)</p> <p><u>国際社会科学府 436 人</u> <u>(うち博士課程(前期) 226 人)</u> <u>博士課程(後期) 90 人</u> <u>専門職学位課程 120 人)</u></p> <p>工学府 767 人 (うち博士課程(前期) 644 人) 博士課程(後期) 123 人)</p> <p>環境情報学府 490 人 (うち博士課程(前期) 346 人) 博士課程(後期) 144 人)</p> <p>都市イノベーション学府 246 人 (うち博士課程(前期) 210 人) 博士課程(後期) 36 人)</p>
----------	---	----------	--

